

お お た 区 議 会  
年 報

- 平成 18 年版 -

2006

大田区議会

# 目 次

## 1 議会構成

(1) 議員	
議員数	1
会派別議員数	1
議員名簿	1
(2) 会議	
本会議	3
常任委員会	3
議会運営委員会	3
特別委員会	4
委員会別所属議員名簿	5

## 2 議会活動

(1) 本会議	
定例会	7
臨時会	7
(2) 常任委員会・特別委員会開催回数	8
(3) その他の会議開催回数	8
(4) 種類別議決件数	9
(5) 議決事項一覧表	
区長提出議案	10
議員提出議案	18
議員提出事件	19
選挙	20
同意	20
答申	20
報告	20
(6) 定例会の質問事項(通告)	22
(7) 予算・決算特別委員会の質疑事項(総括質疑 通告)	28
(8) 委員会別請願・陳情審査件数と処理内訳	30
(9) 委員会別請願・陳情	
総務財政委員会	31
生活産業委員会	31
健康福祉委員会	32
都市整備委員会	34
こども文教委員会	35
議会運営委員会	37
交通問題調査特別委員会	37

(10) 決議・意見書	
・耐震強度偽装問題に対する特別措置法の制定を求める意見書	38
・第31回オリンピック競技大会の東京招致に関する決議	39
・北朝鮮のミサイル発射に対し厳重に抗議する意見書	40
・交番の整理・統合計画の再考を求める意見書	41
・出資法及び貸金業規制法の改正に関する意見書	42
・北朝鮮の核実験に対し厳重に抗議する決議	43
・JR不採用問題の早期解決を求める意見書	44
(11) 国内視察	
常任委員会行政視察	45
特別委員会行政視察	46
(12) 海外視察	
大田区議会北京市朝陽区親善訪問団行政視察報告	48
大田区議会セーラム市親善訪問団行政視察報告	62
<b>3 歴代議長・副議長・議員選出監査委員</b>	
(1) 歴代議長	73
(2) 歴代副議長	74
(3) 歴代議員選出監査委員	75
<b>4 予算等</b>	
(1) 議会費(当初予算)	76
(2) 議員報酬	76
(3) 議会刊行物	77
<b>5 事務局(組織図)</b>	77

# 1 議会構成（平成 18 年 12 月 28 日現在）

（ 1 ）議員 平成 15 年 5 月 1 日就任（平成 15 年 4 月 27 日選挙）

議員数 法定上限数 56 人 条例定数 50 人（条例改正 平成 9 年 10 月）

会派別議員数

会 派 名	略称	構 成 人 員（ 人 ）			ダイヤルイン	内 線
		総数	男性	女性		
自由民主党大田区議団 1	自民	14	14	0	5744 1480	4041 ~ 4049
大田区議会公明党	公明	11	8	3	5744 1488	4051 ~ 4057
日本共産党大田区議団	共産	8	4	4	5744 1477	4061 ~ 4066
大田区議会民主党 2	民主	4	3	1	5744 1475	4081 ~ 4083
ネット・無所属連合	ネ無	3	1	2	5744 1478	4071 ~ 4072
大田区民連合 3	区民	3	3	0	5744 1472	4036
大田区議会緑の党	緑	1	0	1	5744 1479	4074
大田の未来を展く会	未来	1	1	0	5744 1476	4073
大田区議会新成	新成	1	1	0	5744 1617	4084
無所属の会 4	無	1	1	0	5744 1640	4085
改革 110 番 5	改革	1	1	0	5744 1469	4083
合 計		48	37	11		

1 12 月 15 日付け結成

2 4 月 21 日付け結成

3 12 月 15 日付け結成

4 3 月 22 日付け結成

5 4 月 21 日付け結成

議員名簿

議 長 水 井 達 興（自民）

副議長 高 橋 博（公明）

会派 略称	議席 番号	氏 名	郵便番号	住 所	電話番号
区民	1	永井 敬臣	144-0044	大田区本羽田一丁目 20 番 3 号	3744-8683
	2	欠 番			
自民	3	近藤 忠夫	145-0065	大田区東雪谷二丁目 7 番 2-301 号	3727-0913
区民	4	田中 一吉	144-0051	大田区西蒲田六丁目 10 番 3 号	3735-1650
自民	5	河津 章夫	145-0074	大田区東嶺町 29 番 4 号	3755-8386
	6	欠 番			
自民	7	水井 達興	144-0052	大田区蒲田一丁目 8 番 14 号	3733-2369
自民	8	小原 直美	146-0085	大田区久が原二丁目 24 番 1 号	3754-0974
自民	9	海老澤信吉	145-0064	大田区上池台五丁目 21 番 18 号	3728-2563
自民	10	松原 秀典	146-0082	大田区池上七丁目 19 番 22 号	3753-1465
区民	11	高瀬 三徳	143-0026	大田区西馬込二丁目 31 番 3 号	3777-1941
自民	12	鈴木 章浩	143-0024	大田区中央二丁目 22 番 18 号	5709-9015
自民	13	安藤 充	144-0043	大田区羽田三丁目 1 番 2 号	3744-7038

会派 略称	議席 番号	氏名	郵便番号	住所	電話番号
自民	14	岸田 哲治	145-0062	大田区北千束一丁目 13 番 3 号	3718-0987
自民	15	大森 昭彦	144-0031	大田区東蒲田一丁目 12 番 16 号	3738-4991
自民	16	松原茂登樹	144-0034	大田区西糺谷二丁目 30 番 17 号	3741-6683
自民	17	伊藤 和弘	143-0016	大田区大森北六丁目 11 番 14 号	3761-9231
自民	18	塩野目正樹	143-0013	大田区大森南三丁目 10 番 1-401 号	5735-1529
自民	19	湯本良太郎	143-0011	大田区大森本町二丁目 31 番 10 号	3765-1444
無	20	有川 靖夫	143-0025	大田区南馬込一丁目 26 番 15 号	3774-5110
公明	21	田口 仁	144-0052	大田区蒲田三丁目 18 番 6-702 号	3730-0805
公明	22	溝口 誠	145-0062	大田区北千束二丁目 15 番 20 号	3729-4141
公明	23	荒川 善夫	144-0045	大田区南六郷一丁目 19 番 1-502 号	3737-0619
公明	24	高橋 博	144-0032	大田区北糺谷二丁目 10 番 8 号	3741-0460
公明	25	飯田 茂	145-0066	大田区南雪谷二丁目 9 番 15 号	3720-5389
公明	26	富田 俊一	144-0033	大田区東糺谷一丁目 12 番 20 号	3742-3190
公明	27	清波 貞子	144-0051	大田区西蒲田三丁目 21 番 3 号	3753-3945
公明	28	古山 昌子	146-0093	大田区矢口三丁目 2 番 16-105 号	3758-8178
公明	29	渡部登志雄	143-0016	大田区大森北三丁目 24 番 16 号	3761-2076
公明	30	松本 洋之	144-0051	大田区西蒲田七丁目 48 番 1-702 号	3730-5390
公明	31	丸山 かよ	143-0015	大田区大森西七丁目 2 番 3 号	3761-1424
改革	32	犬伏 秀一	144-0045	大田区南六郷三丁目 13 番 6-610 号	3744-0111
民主	33	山崎 勝広	144-0046	大田区東六郷三丁目 14 番 12-207 号	3735-2585
民主	34	岸田 正	143-0015	大田区大森西五丁目 19 番 13 号	5482-2121
民主	35	都野 圭子	145-0072	大田区田園調布本町 29 番 2-101 号	3722-7442
民主	36	田中 健	145-0065	大田区東雪谷二丁目 24 番 9-203 号	3720-7584
ネ無	37	荒木 秀樹	143-0023	大田区山王三丁目 1 番 13 号	3771-4719
ネ無	38	内田 秀子	143-0025	大田区南馬込六丁目 24 番 4 号	5748-1770
ネ無	39	奈須 利江	145-0062	大田区北千束一丁目 11 番 8 号	3724-3285
緑	40	野呂 恵子	146-0093	大田区矢口一丁目 25 番 5 号-D	3758-2758
未来	41	金子 富夫	144-0043	大田区羽田三丁目 5 番 20 号	3743-3069
新成	42	沼田 秀弘	144-0043	大田区羽田六丁目 31 番 7-401 号	3744-2378
共産	43	清水 菊美	144-0033	大田区東糺谷一丁目 13 番 2-501 号	3745-6371
共産	44	菅谷 郁恵	143-0012	大田区大森東三丁目 9 番 21 号	3767-8581
共産	45	金子 悦子	144-0056	大田区西六郷二丁目 2 番 1 号	5711-0350
共産	46	和田 正子	146-0095	大田区多摩川二丁目 24 番 62-2-209 号	3759-6579
共産	47	黒沼 良光	144-0035	大田区南蒲田三丁目 4 番 2 号	3742-2680
共産	48	藤原 幸雄	144-0034	大田区西糺谷四丁目 21 番 17 号	3744-9952
共産	49	渋谷 要	146-0091	大田区鷺の木二丁目 41 番 3 号	3750-1966
共産	50	大竹 辰治	146-0094	大田区東矢口三丁目 11 番 19 号	3736-4202

## (2) 会議

### 本会議

定例会の回数は、条例で年4回と定められており、2月、6月、9月、11月に招集される。その他、必要に応じて臨時会が開かれる。

### 常任委員会

委員会の名称、定数及び所管は表のとおりである。委員の任期は1年である。

平成18年12月28日現在

名 称	委員定数	所 管
総務財政	10人	経営管理部、収入役室、選挙管理委員会及び監査委員に関する事並びに他の常任委員会に属しないこと
生活産業	10人 (現員8人)	区民生活部、産業経済部及び地域行政センター(特別出張所の所管事項に限る。)に関する事
健康福祉	10人	保健福祉部、保健所及び地域行政センター(地域福祉課、地域健康課及び生活福祉課の所管事項に限る。)に関する事
都市整備	10人	まちづくり推進部、交通事業本部、清掃部及び地域行政センター(まちなみ整備課の所管事項に限る。)に関する事
こども文教	10人	こども育成部及び教育委員会に関する事

### 議会運営委員会

所属議員が4名以上の会派から4名に1名の割合で選出された委員で構成される。ただし、3名会派についても委員1名を選出できるものとしている。任期は1年である。

平成18年12月28日現在

名 称	委員定数	調 査 事 項
議会運営	13人 (現員10人)	1 議会の運営について 2 議会日程の調整について 3 会議規則・委員会条例等の取り扱いについて 4 議長の諮問に関する事項について

特別委員会

特別委員会は必要があるとき、議会の議決で設置され、委員の定数も議決で定められる。

平成 18 年 12 月 28 日現在

名 称	委員定数	調 査 事 件
観光振興等調査	12 人 (現員 10 人)	1 観光資源に関する調査・研究について 2 観光振興に関する調査・研究について
交通問題調査	11 人	1 京浜急行連続立体交差事業の推進について 2 交通網整備等に関する対策について
羽田空港対策	12 人	1 羽田空港の再拡張事業について 2 羽田空港の跡地利用について 3 羽田空港の空港機能について
防災・安全対策	11 人	1 防災対策について 2 危機管理対策について 3 地域防犯対策について
決 算 (設置期間) 18.9.22～10.16	議長及び議員 選出監査委員 を除く全議員	1 前年度各会計決算について

平成 18 年 5 月 29 日まで

名 称	委員定数	調 査 事 件
地域活性化等 調査	12 人 (現員 10 人)	1 中小企業振興に関する対策について 2 観光、文化振興に関する対策について
交通問題調査	11 人	1 京浜急行連続立体交差事業の推進について 2 交通網整備等に関する対策について
羽田空港対策	12 人	1 羽田空港の再拡張事業について 2 羽田空港の跡地利用について 3 羽田空港の空港機能について
防災・安全対策	11 人	1 防災対策について 2 危機管理対策について 3 地域防犯対策について
予 算 (設置期間) 18.3.2～3.28	議長を除く全 議員	1 次年度各会計予算について

委員会所属議員名簿

平成 18 年 3 月 28 日まで

委 員 会		委 員 長	副委員長	委 員		
常 任 委 員 会	総務財政 委員会 (定数 10 人)	近藤 忠夫	飯田 茂	高瀬 三徳 渡部登志雄 清水 菊美	鈴木 章浩 岸田 正 大竹 辰治	湯本良太郎 奈須 利江
	生活産業 委員会 (定数 10 人)	高橋 博	渋谷 要	河津 章夫 有川 靖夫 荒木 秀樹	大森 昭彦 丸山 かよ 沼田 秀弘	松原茂登樹 山崎 勝弘
	健康福祉 委員会 (定数 10 人)	金子 悦子	海老澤信吉	田中 一吉 古山 昌子 和田 正子	塩野目正樹 犬伏 秀一	田口 仁 野呂 恵子
	都市整備 委員会 (定数 10 人)	松原 秀典	田中 健	水井 達興 清波 貞子 黒沼 良光	伊藤 和弘 松本 洋之	荒川 善夫 金子 富夫
	こども文教 委員会 (定数 10 人)	永井 敬臣	内田 秀子	小原 直美 溝口 誠 菅谷 郁恵	安藤 充 富田 俊一 藤原 幸雄	岸田 哲治 都野 圭子
議会運営委員会 (定数 13 人)		鈴木 章浩	渡部登志雄	海老澤信吉 飯田 茂 奈須 利江	松原 秀典 丸山 かよ 菅谷 郁恵	大森 昭彦 岸田 正 大竹 辰治
特 別 委 員 会	地域活性化等 調査特別委員会 (定数 12 人)	犬伏 秀一	丸山 かよ	小原 直美 飯田 茂 藤原 幸雄	高瀬 三徳 岸田 正 大竹 辰治	岸田 哲治 奈須 利江
	交通問題調査 特別委員会 (定数 11 人)	富田 俊一	湯本良太郎	近藤 忠夫 渡部登志雄 沼田 秀弘	河津 章夫 松本 洋之 金子 悦子	海老澤信吉 田中 健 渋谷 要
	羽田空港対策 特別委員会 (定数 12 人)	安藤 充	菅谷 郁恵	永井 敬臣 溝口 誠 内田 秀子 黒沼 良光	鈴木 章浩 古山 昌子 野呂 恵子	大森 昭彦 都野 圭子 金子 富夫
	防災・安全対策 特別委員会 (定数 11 人)	高橋 博	松原茂登樹	松原 秀典 有川 靖夫 荒木 秀樹	伊藤 和弘 田口 仁 清水 菊美	塩野目正樹 山崎 勝広 和田 正子

- 1 氏名順は議席番号順
- 2 氏名の前の 印は理事



平成 18 年 12 月 28 日現在

委 員 会		委 員 長	副委員長	委 員		
常 任 委 員 会	総務財政 委員会 (定数 10 人)	高瀬 三徳	渡部登志雄	河津 章夫 溝口 誠 菅谷 郁恵	松原 秀典 田中 健 大竹 辰治	松原茂登樹 奈須 利江
	生活産業 委員会 (定数 10 人)	飯田 茂	岸田 哲治	永井 敬臣 松本 洋之	湯本良太郎 犬伏 秀一	富田 俊一 金子 悦子
	健康福祉 委員会 (定数 10 人)	和田 正子	塩野目正樹	海老澤信吉 清波 貞子 野呂 恵子	安藤 充 岸田 正 清水 菊美	荒川 善夫 荒木 秀樹
	都市整備 委員会 (定数 10 人)	鈴木 章浩	内田 秀子	水井 達興 高橋 博 金子 富夫	小原 直美 古山 昌子 藤原 幸雄	大森 昭彦 都野 圭子
	こども文教 委員会 (定数 10 人)	田中 一吉	丸山 かよ	近藤 忠夫 田口 仁 黒沼 良光	伊藤 和弘 山崎 勝広 渋谷 要	有川 靖夫 沼田 秀弘
議会運営委員会 (定数 13 人)		安藤 充	溝口 誠	松原 秀典 渡部登志雄 藤原 幸雄	大森 昭彦 岸田 正 大竹 辰治	松原茂登樹 奈須 利江
特 別 委 員 会	観光振興等 調査特別委員会 (定数 12 人)	岸田 正	伊藤 和弘	河津 章夫 清波 貞子 和田 正子	海老澤信吉 渡部登志雄 黒沼 良光	有川 靖夫 沼田 秀弘
	交通問題調査 特別委員会 (定数 11 人)	大森 昭彦	田口 仁	田中 一吉 飯田 茂 金子 富夫	松原 秀典 山崎 勝広 金子 悦子	岸田 哲治 奈須 利江 大竹 辰治
	羽田空港対策 特別委員会 (定数 12 人)	松本 洋之	藤原 幸雄	永井 敬臣 塩野目正樹 田中 健 清水 菊美	安藤 充 荒川 善夫 内田 秀子	松原茂登樹 丸山 かよ 野呂 恵子
	防災・安全対策 特別委員会 (定数 11 人)	湯本良太郎	富田 俊一	近藤 忠夫 溝口 誠 荒木 秀樹	高瀬 三徳 犬伏 秀一 菅谷 郁恵	鈴木 章浩 都野 圭子 渋谷 要

- 1 氏名順は議席番号順
- 2 氏名の前の 印は理事

委 員 会		委 員 長	副委員長	委 員
特別委員会	予算特別委員会 (定数 47 人) 設置期間 18.3.2 ~ 3.28	高瀬 三徳	松本 洋之 和田 正子	議長、委員長、副委員長を除く全議員 (委員名は省略)
	決算特別委員会 (定数 45 人) 設置期間 18.9.22 ~ 10.16	海老澤信吉	清波 貞子 金子 悦子	議長、委員長、副委員長及び議員選出 監査委員を除く全議員 (委員名は省略)

## 2 議 会 活 動

### ( 1 ) 本 会 議

#### 定例会

定例会	期 間	会期	開催日数
第 1 回	2 月 23 日 ~ 3 月 28 日	34 日	5 日
第 2 回	6 月 8 日 ~ 6 月 19 日	12 日	3 日
第 3 回	9 月 21 日 ~ 10 月 16 日	26 日	4 日
第 4 回	11 月 29 日 ~ 12 月 8 日	10 日	3 日

#### 臨時会

臨時会	期 間	会期	開催日数
第 1 回	5 月 29 日	1 日	1 日
第 2 回	7 月 19 日 ~ 7 月 21 日	3 日	2 日

(2) 常任委員会・特別委員会開催回数

委員会		月												計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
常任委員会	総務財政	1	1	3	1	1	2	1	0	3	1	1	3	18
	生活産業	1	1	3	1	1	2	1	1	3	1	1	3	19
	健康福祉	1	1	3	1	2	2	1	1	3	1	1	3	20
	都市整備	2	1	2	1	2	3	1	1	2	2	1	3	21
	こども文教	1	1	4	1	2	3	1	1	3	1	1	3	22
小計		6	5	15	5	8	12	5	4	14	6	5	15	100
議会運営委員会		0	2	2	0	2	3	0	0	3	2	2	4	20
特別委員会	地域活性化等調査	1	1	1	1	1								5
	観光振興等調査						2	2	1	2	1	1	1	10
	交通問題調査	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	3	15
	羽田空港対策	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	13
	防災・安全対策	1	1	1	1	1	1	1	0	2	0	1	1	11
	予算			8										8
	決算									1	7			8
小計		4	4	12	4	4	5	5	3	8	10	4	7	70
合計		10	11	29	9	14	20	10	7	25	18	11	26	190

(3) その他の会議開催回数

会議		月												計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
常任・特別合同委員長会						1								1
合計						1								1

( 4 ) 種類別議決件数

議案、事件

種 別	件数	種 別	件数
条例	89	土地の取得、処分	1
規則	0	同意	6
予算	16	答申	10
決算	6	報告(承認を必要とするもの)	1
契約	15	協議	3
財産	0	指定管理者の指定	5
負担付寄付、贈与の受領	0	購入	1
意見の陳述	2	損害賠償額の決定	1
訴えの提起、和解	0	決議、意見書の提出	7
特別区道路線の認定、廃止	0	議員提出事件(除中間報告)	24
公の施設の廃止	1	合 計	188

選挙

種 別	件数
選挙	1

報告、事件

種 別	件数
報告(報告のみのもの)	18
議員提出事件(中間報告)	3

請願・陳情

結 果	請 願	陳 情
採 択	0	16
不 採 択	4	23
取 下	0	9
審議未了	0	0
継 続	0	67
合 計	4	115

( 5 ) 議決事項一覧表

区長提出議案 ( 135 件 )

会議名	番号	件名	議決 年月日	議決内容	反対会派	付託 委員会
第 1 回 定例会	1	平成 18 年度大田区一般会計予算	18.3.28	原案可決	共産、緑	予算特別
	2	平成 18 年度大田区職員厚生資金特別会計予算	18.3.28	原案可決		予算特別
	3	平成 18 年度大田区国民健康保険事業特別会計予算	18.3.28	原案可決	共産	予算特別
	4	平成 18 年度大田区老人保健医療特別会計予算	18.3.28	原案可決	共産	予算特別
	5	平成 18 年度大田区介護保険特別会計予算	18.3.28	原案可決	共産、緑	予算特別
	6	平成 17 年度大田区一般会計補正予算 ( 第 4 次 )	18.3.10	原案可決	共産	総務財政
	7	平成 17 年度大田区国民健康保険事業特別会計補正予算 ( 第 1 次 )	18.3.10	原案可決		総務財政
	8	平成 17 年度大田区介護保険特別会計補正予算 ( 第 3 次 )	18.3.10	原案可決	共産	総務財政
	9	平成 17 年度大田区公有水面埋立事業特別会計補正予算 ( 第 1 次 )	18.3.10	原案可決	共産	総務財政
	10	大田区情報公開条例の一部を改正する条例	18.3.10	原案可決		総務財政
	11	大田区公有水面埋立事業特別会計条例を廃止する条例	18.3.10	原案可決		総務財政
	12	大田区債権の管理に関する条例	18.3.10	原案可決		総務財政
	13	職員団体のための職員の行為の制限の特例に関する条例の一部を改正する条例	18.3.10	原案可決		総務財政
	14	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	18.3.10	原案可決	共産、ネ 無 2、緑	総務財政
	15	職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例	18.3.10	原案可決		総務財政
	16	大田区手数料条例の一部を改正する条例	18.3.10	原案可決	共産	総務財政
	17	大田区用品調達基金条例を廃止する条例	18.3.10	原案可決	共産	総務財政
	18	大田区立生活センター条例の一部を改正する条例	18.3.10	原案可決		生活産業

会議名	番号	件名	議決 年月日	議決内容	反対会派	付託 委員会	
第1回 定例会	19	大田区国民保護対策本部及び緊急対処事態対策本部条例	18.3.10	原案可決	共産、ネ 無2、緑 共産、ネ 無2、緑 共産	防災・安全対策	
	20	大田区国民保護協議会条例	18.3.10	原案可決		防災・安全対策	
	21	大田区国民健康保険条例の一部を改正する条例	18.3.10	原案可決		生活産業	
	22	大田区産業のまちづくり条例の一部を改正する条例	18.3.10	原案可決		生活産業	
	23	大田区中小企業倒産防止共済掛金助成条例の一部を改正する条例	18.3.10	原案可決		生活産業	
	24	大田区立区民センター条例の一部を改正する条例	18.3.10	原案可決		生活産業	
	25	大田区特別出張所付属施設条例の一部を改正する条例	18.3.10	原案可決		生活産業	
	26	大田区立大森東地域センター条例の一部を改正する条例	18.3.10	原案可決		生活産業	
	27	大田区立ライフコミュニティ西馬込条例の一部を改正する条例	18.3.10	原案可決		生活産業	
	28	大田区立池上会館条例の一部を改正する条例	18.3.10	原案可決		生活産業	
	29	大田区立山王会館条例の一部を改正する条例	18.3.10	原案可決		生活産業	
	30	大田区立田園調布富士見会館条例の一部を改正する条例	18.3.10	原案可決		生活産業	
	31	大田区立特別養護老人ホーム条例の一部を改正する条例	18.3.10	原案可決		共産	健康福祉
	32	大田区立高齢者在宅サービスセンター条例の一部を改正する条例	18.3.10	原案可決		共産	健康福祉
	33	大田区介護給付費準備基金条例の一部を改正する条例	18.3.10	原案可決		健康福祉	
	34	大田区介護保険高額介護サービス費等資金貸付条例の一部を改正する条例	18.3.10	原案可決		健康福祉	
	35	大田区障害者自立支援法に基づく介護給付費等の支給に関する審査会の委員の定数等を定める条例	18.3.10	原案可決		健康福祉	

会議名	番号	件名	議決 年月日	議決内容	反対会派	付託 委員会
第1回 定例会	36	大田区立下丸子作業所条例の一部を改正する条例	18.3.10	原案可決	共産、緑	健康福祉
	37	大田区立知的障害者援護施設条例の一部を改正する条例	18.3.10	原案可決	共産、緑	健康福祉
	38	大田区立新蒲田福祉センター条例の一部を改正する条例	18.3.10	原案可決	共産、緑	健康福祉
	39	大田区立上池台障害者福祉会館条例の一部を改正する条例	18.3.10	原案可決	共産、緑	健康福祉
	40	大田区私道整備助成条例の一部を改正する条例	18.3.10	原案可決	共産	都市整備
	41	大田区私道排水設備助成条例の一部を改正する条例	18.3.10	原案可決	共産	都市整備
	42	大田区東海三丁目地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例	18.3.10	原案可決		都市整備
	43	田園調布多摩川台地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例	18.3.10	原案可決		都市整備
	44	洗足風致地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例	18.3.10	原案可決		都市整備
	45	大森西七丁目地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例	18.3.10	原案可決		都市整備
	46	京急蒲田駅西口地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例	18.3.10	原案可決		都市整備
	47	大田区田園調布地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例	18.3.10	原案可決		都市整備
	48	大田区特別工業地区建築条例の一部を改正する条例	18.3.10	原案可決		都市整備
	49	大田区斜面地における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例	18.3.10	原案可決		都市整備

会議名	番号	件名	議決 年月日	議決内容	反対会派	付託 委員会
第1回 定例会	50	大田区営住宅条例の一部を改正する条例	18.3.10	原案可決		都市整備
	51	幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	18.3.10	原案可決		こども文教
	52	大田区立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例	18.3.10	原案可決		こども文教
	53	特別区人事及び厚生事務組合理約の一部を変更する規約に関する協議について	18.3.10	原案可決		総務財政
	54	東京二十三区清掃協議会規約の一部を変更する規約に関する協議について	18.3.10	原案可決		総務財政
	55	包括外部監査契約の締結について	18.3.10	原案可決		総務財政
	56	池上小学校外 9 校普通教室空調機械設備工事請負契約について	18.3.10	原案可決		総務財政
	57	赤松小学校外 10 校普通教室空調機械設備工事請負契約について	18.3.10	原案可決		総務財政
	58	大森第三小学校外 9 校普通教室空調機械設備工事請負契約について	18.3.10	原案可決		総務財政
	59	大森東中学校外 9 校普通教室空調機械設備工事請負契約について	18.3.10	原案可決		総務財政
	60	大田区産業連携支援施設の指定管理者の指定について	18.3.10	原案可決		生活産業
	61	大田区営大森西四丁目アパートの指定管理者の指定について	18.3.10	原案可決		都市整備
	62	大田区立母子生活支援施設の指定管理者の指定について	18.3.10	原案可決		こども文教
	63	大田区職員定数条例の一部を改正する条例	18.3.10	原案可決	共産、緑	総務財政
	64	大田区介護保険条例の一部を改正する条例	18.3.28	原案可決	共産、緑	健康福祉
65	大田区国民健康保険条例の一部を改正する条例	18.3.28	原案可決		生活産業	



会議名	番号	件名	議決 年月日	議決内容	反対会派	付託 委員会
第1回 定例会	66	大田区保健所及び衛生検査所使用条例の一部を改正する条例	18.3.28	原案可決		健康福祉
	67	大田区地域行政センターにおける試験検査等の使用料及び診断書等の手数料に関する条例の一部を改正する条例	18.3.28	原案可決		健康福祉
第1回 臨時会	68	平成18年度大田区一般会計補正予算(第1次)	18.5.29	原案可決	共産 (退席: 不 無2、緑、 改革)	総務財政
	69	仮称大森ふるさとの浜辺公園整備工事その2(植栽及び公園施設等)請負契約について	18.5.29	原案可決		総務財政
	70	大田区立梅田小学校体育館改築その他工事請負契約について	18.5.29	原案可決		総務財政
第2回 定例会	71	平成18年度大田区一般会計補正予算(第2次)	18.6.19	原案可決		総務財政
	72	大田区北蒲広場条例	18.6.19	原案可決		生活産業
	73	大田区特別区税条例の一部を改正する条例	18.6.19	原案可決	共産、緑	生活産業
	74	大田区立知的障害者援護施設条例の一部を改正する条例	18.6.19	原案可決	共産、緑	健康福祉
	75	大田区立新蒲田福祉センター条例の一部を改正する条例	18.6.19	原案可決	共産、緑	健康福祉
	76	大田区立上池台障害者福祉会館条例の一部を改正する条例	18.6.19	原案可決	共産、緑	健康福祉
	77	大田区立児童遊園条例の一部を改正する条例	18.6.19	原案可決		都市整備
	78	大田区立心身障害児通所施設条例の一部を改正する条例	18.6.19	原案可決		こども文教
	79	大田区立図書館設置条例の一部を改正する条例	18.6.19	原案可決	共産、緑	こども文教
	80	大田区田園調布二丁目付近枝線その13工事(下水道)請負契約について	18.6.19	原案可決		総務財政
	81	仮称大田区立大森南四丁目工場アパート新築工事請負契約について	18.6.19	原案可決		総務財政

会議名	番号	件名	議決 年月日	議決内容	反対会派	付託 委員会
第2回 定例会	82	仮称大田区立大森南四丁目工場 アパート新築電気設備工事請負 契約について	18.6.19	原案可決		総務財政
	83	小型プレス車(軽油ごみ収集車) の購入について	18.6.19	原案可決		総務財政
	84	大田区立知的障害者援護施設の 指定管理者の指定について	18.6.19	原案可決	共産	健康福祉
	85	大田区立東中公園の廃止につい て	18.6.19	原案可決		都市整備
第2回 臨時会	86	大田区無防備平和条例	18.7.21	否決	自民、公 明、共産、 民主、ネ 無1、未 来、新成、 無、改革	防災・安 全対策
第3回 定例会	87	平成17年度大田区一般会計歳 入歳出決算	18.10.16	原案可決	共産、緑	決算特別
	88	平成17年度大田区職員厚生資 金特別会計歳入歳出決算	18.10.16	原案可決		決算特別
	89	平成17年度大田区国民健康保 険事業特別会計歳入歳出決算	18.10.16	原案可決	共産	決算特別
	90	平成17年度大田区老人保健医 療特別会計歳入歳出決算	18.10.16	原案可決		決算特別
	91	平成17年度大田区介護保険特 別会計歳入歳出決算	18.10.16	原案可決	共産、緑	決算特別
	92	平成17年度大田区公有水面埋 立事業特別会計歳入歳出決算	18.10.16	原案可決	共産	決算特別
	93	平成18年度大田区一般会計補 正予算(第3次)	18.10.2	原案可決	共産	総務財政
	94	平成18年度大田区国民健康保 険事業特別会計補正予算(第1 次)	18.10.2	原案可決		総務財政
	95	平成18年度大田区老人保健医 療特別会計補正予算(第1次)	18.10.2	原案可決		総務財政
	96	平成18年度大田区介護保険特 別会計補正予算(第1次)	18.10.2	原案可決		総務財政
	97	大田区手数料条例の一部を改正 する条例	18.10.2	原案可決		総務財政
98	大田区ふれあいはずめま条例	18.10.2	原案可決		生活産業	

会議名	番号	件名	議決 年月日	議決内容	反対会派	付託 委員会
第3回 定例会	99	大田区国民健康保険条例の一部を改正する条例	18.9.22	原案可決	共産、緑	生活産業
	100	大田区生業資金貸付条例及び大田区生業資金貸付審査会条例を廃止する条例	18.10.2	原案可決	共産	健康福祉
	101	大田区応急小口資金貸付条例の一部を改正する条例	18.10.2	原案可決		健康福祉
	102	大田区母子福祉応急小口資金貸付条例を廃止する条例	18.10.2	原案可決	共産	健康福祉
	103	大田区女性福祉資金貸付条例を廃止する条例	18.10.2	原案可決	共産	健康福祉
	104	大田区障害者自立支援法に基づく介護給付費等の支給に関する審査会の委員の定数等を定める条例の一部を改正する条例	18.9.22	原案可決	共産、緑	健康福祉
	105	大田区立児童遊園条例の一部を改正する条例	18.10.2	原案可決		都市整備
	106	大田区公衆便所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	18.10.2	原案可決		都市整備
	107	大田区営住宅条例の一部を改正する条例	18.10.2	原案可決		都市整備
	108	大田区ひとり親家庭の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	18.9.22	原案可決	共産、緑	こども文教
	109	大田区学童保育の実施等に関する条例の一部を改正する条例	18.9.22	原案可決		こども文教
	110	大田区立心身障害児通所施設条例の一部を改正する条例	18.9.22	原案可決	共産、緑	こども文教
	111	大田区雪谷特別出張所及び大田区立雪谷保育園改築工事請負契約について	18.10.2	原案可決		総務財政
	112	仮称大田区立子ども家庭支援センター大森新築工事請負契約について	18.10.2	原案可決		総務財政
113	公有水面の埋立てに関する意見の陳述について	18.10.2	原案可決	ネ無2	都市整備	
114	公有水面の埋立てに関する意見の陳述について	18.10.2	原案可決	共産、ネ無2、緑	羽田空港対策	

会議名	番号	件名	議決 年月日	議決内容	反対会派	付託 委員会	
第3回 定例会	115	区の義務に属する損害賠償の額の決定について	18.10.2	原案可決		都市整備	
第4回 定例会	116	平成18年度大田区一般会計補正予算(第4次)	18.12.8	原案可決	共産、ネ 無2、改革	総務財政	
	117	大田区大森南四丁目工場アパート条例	18.12.8	原案可決		生活産業	
	118	大田区奨学金貸付条例の一部を改正する条例	18.12.8	原案可決		健康福祉	
	119	大田区立児童遊園条例の一部を改正する条例	18.12.8	原案可決		都市整備	
	120	大田区立学校設置条例の一部を改正する条例	18.12.8	原案可決		こども文教	
	121	大田区立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例	18.12.8	原案可決		こども文教	
	122	土地の取得について	18.12.8	原案可決		総務財政	
	123	仮称大森ふるさとの浜辺公園整備工事その3(砂浜及び釣磯造成等)請負契約について	18.12.8	原案可決		総務財政	
	124	開桜小学校外14校特別教室空調機械設備工事請負契約について	18.12.8	原案可決		総務財政	
	125	大森東中学校外7校特別教室空調機械設備工事請負契約について	18.12.8	原案可決		総務財政	
	126	東京都後期高齢者医療広域連合の設置に関する協議について	18.12.8	原案可決		共産、緑	健康福祉
	127	大田区立図書館の指定管理者の指定について	18.12.8	原案可決		共産、ネ 無2、緑	こども文教
	128	大田区長等の給料等に関する条例の一部を改正する条例	18.12.8	原案可決		総務財政	
	129	大田区行政委員会の委員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	18.12.8	原案可決		総務財政	
	130	大田区監査委員の給与等に関する条例の一部を改正する条例	18.12.8	原案可決		総務財政	
131	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	18.12.8	原案可決	総務財政			

会議名	番号	件名	議決 年月日	議決内容	反対会派	付託 委員会
第4回 定例会	132	職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例	18.12.8	原案可決		総務財政
	133	大田区教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例	18.12.8	原案可決		総務財政
	134	大田区議会議員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例	18.12.8	原案可決		総務財政
	135	幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	18.12.8	原案可決		こども文教

議員提出議案（12件）

会議名	番号	件名	議決 年月日	議決内容	反対会派	付託 委員会
第1回 定例会	1	耐震強度偽装問題に対する特別措置法の制定を求める意見書	18.3.28	原案可決		
	2	第31回オリンピック競技大会の東京招致に関する決議	18.3.28	原案可決	共産、ネ無2、緑 (退席：民自未1)	
第1回 臨時会	3	大田区議会委員会条例の一部を改正する条例	18.5.29	原案可決		
第2回 臨時会	4	北朝鮮のミサイル発射に対し厳重に抗議する意見書	18.7.19	原案可決		
	5	交番の整理・統合計画の再考を求める意見書	18.7.21	原案可決		
第3回 定例会	6	大田区議会議員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例	18.12.8	継続		総務財政
	7	出資法及び貸金業規制法の改正に関する意見書	18.10.6	原案可決		
	8	北朝鮮の核実験に対し厳重に抗議する決議	18.10.6	原案可決		
第4回 定例会	9	大田区議会における政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例	18.12.8	継続		総務財政
	10	大田区障害福祉サービス食事の費用の助成に関する条例	18.12.8	否決	自民、公明	健康福祉

会議名	番号	件名	議決年月日	議決内容	反対会派	付託委員会
第4回定例会	11	大田区こどもの医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	18.12.8	継続		こども文教
	12	J R 不採用問題の早期解決を求める意見書	18.12.8	原案可決		

議員提出事件（27件）

会議名	件名	議決年月日	備考
第1回定例会	区長及び筆頭助役に対する自主辞任を促す動議	18.2.23	否決
	会期の決定について	18.2.23	可決
	予算特別委員会設置の動議	18.3.2	可決
	予算特別委員選任	18.3.2	選任
	議席の一部変更について	18.3.28	可決
第1回臨時会	議席の一部変更について	18.5.29	可決
	会期の決定について	18.5.29	可決
	地域活性化等調査特別委員会調査報告	18.5.29	承認
	交通問題調査特別委員会中間報告	18.5.29	報告
	羽田空港対策特別委員会中間報告	18.5.29	報告
	防災・安全対策特別委員会中間報告	18.5.29	報告
	副議長辞職許可について	18.5.29	許可
	常任委員選任	18.5.29	選任
	議会運営委員選任	18.5.29	選任
	交通問題調査特別委員選任	18.5.29	選任
	羽田空港対策特別委員選任	18.5.29	選任
	防災・安全対策特別委員選任	18.5.29	選任
	観光振興等調査特別委員会設置の動議	18.5.29	可決
観光振興等調査特別委員選任	18.5.29	選任	
第2回定例会	会期の決定について	18.6.8	可決
第2回臨時会	会期の決定について	18.7.19	可決
第3回定例会	会期の決定について	18.9.21	可決
	決算特別委員会設置の動議	18.9.22	可決
	決算特別委員の選任	18.9.22	選任
	セーラム市親善訪問に伴う議員の派遣について	18.10.2	可決
	北京市朝陽区親善訪問に伴う議員の派遣について	18.10.2	可決
第4回定例会	会期の決定について	18.11.29	可決

選挙（1件）

会議名	件名	議決年月日	備考
第1回臨時会	副議長選挙	18.5.29	高橋 博議員 当選

同意（6件）

会議名	件名	議決年月日	備考
第1回定例会	助役の選任に伴う区議会の同意について	18.3.28	江頭博彦 同意
	収入役の選任に伴う区議会の同意について	18.3.28	池藤紀芳 同意
	監査委員の選任に伴う区議会の同意について	18.3.28	加藤忠夫 同意
第1回臨時会	監査委員の選任に伴う区議会の同意について	18.5.29	小原直美議員 同意
	監査委員の選任に伴う区議会の同意について	18.5.29	古山昌子議員 同意
第2回定例会	教育委員会委員の任命に伴う区議会の同意について	18.6.19	高山美智子 同意

答申（10件）

会議名	件名	議決年月日	備考
第2回定例会	人権擁護委員候補者の推薦について	18.6.19	佐々木一幸（増員）
	人権擁護委員候補者の推薦について	18.6.19	橋爪伸由（増員）
	人権擁護委員候補者の推薦について	18.6.19	西川満智子（増員）
	人権擁護委員候補者の推薦について	18.6.19	小田部規矩男（増員）
	人権擁護委員候補者の推薦について	18.6.19	石井一平（増員）
	人権擁護委員候補者の推薦について	18.6.19	川崎洋子（増員）
	人権擁護委員候補者の推薦について	18.6.19	牧田章子（増員） 上記の区長推薦候補者のとおりで異議なし。
第3回定例会	人権擁護委員候補者の推薦について	18.10.16	鈴木清子（再任）
	人権擁護委員候補者の推薦について	18.10.16	野邊晴子（再任）
	人権擁護委員候補者の推薦について	18.10.16	松本浩子（新任） 上記の区長推薦候補者のとおりで異議なし。

報告（19件）

会議名	番号	件名	議決（報告）年月日	議決内容	付託委員会
第1回定例会	1	区の義務に属する損害賠償額決定に係る専決処分の承認について	18.3.10	承認	総務財政
	2	区の義務に属する損害賠償額決定に係る専決処分の報告について	18.3.2	報告	
	3	大田第8号大岡山駅自転車駐車場建設工事請負契約の専決処分の報告について	18.3.2	報告	

会議名	番号	件名	議決(報告) 年月日	議決内容	付託委員会
第1回 臨時会	4	条例改正の専決処分の承認について	18.5.29	承認 (反対：共 産、緑)	生活産業
	5	大田区田園調布二丁目付近枝線その 12工事(下水道)請負契約の専決処 分の報告について	18.5.29	報告	
	6	大田区田園調布本町付近枝線その 10工事(下水道)請負契約の専決処 分の報告について	18.5.29	報告	
	7	仮称大森ふるさとの浜辺公園整備工 事その1(連絡橋等)請負契約の専 決処分の報告について	18.5.29	報告	
	8	都市計画道路補助第43・44号線街路 整備その6工事請負契約の専決処 分の報告について	18.5.29	報告	
	9	大田区立東蒲小学校体育館及びプー ル改築その他工事請負契約の専決 処分の報告について	18.5.29	報告	
第2回 定例会	10	大田区立大田福祉作業所改築工事請 負契約の専決処分の報告について	18.5.29	報告	
	11	平成17年度大田区繰越明許費繰越 計算書	18.6.9	報告	
	12	大田区土地開発公社の経営状況に関 する書類の提出について	18.6.9	報告	
	13	財団法人大田区文化振興協会の経営 状況に関する書類の提出について	18.6.9	報告	
	14	財団法人大田区産業振興協会の経営 状況に関する書類の提出について	18.6.9	報告	
	15	蒲田開発事業株式会社の経営状況に 関する書類の提出について	18.6.9	報告	
	16	財団法人大田区体育協会の経営状況 に関する書類の提出について	18.6.9	報告	
第3回 定例会	17	区の義務に属する損害賠償額決定に 係る専決処分の報告について	18.6.9	報告	
第4回 定例会	18	区の義務に属する損害賠償額決定に 係る専決処分の報告について	18.9.22	報告	
	19	区の義務に属する損害賠償額決定に 係る専決処分の報告について	18.11.30	報告	



( 6 ) 定例会の質問事項 ( 通告 )

平成 18 年第 1 回定例会

質 問 者	質 問 事 項
海老澤 信吉 ( 自 民 )	1 平成 18 年度予算について 2 耐震強度偽装問題について 3 羽田空港跡地について 4 京急連立について 5 産業について 6 教育について
飯田 茂 ( 公 明 )	1 平成 18 年度予算と財政運営について 2 人口減少社会への対応について 3 区民の安心・安全対策について 4 区有施設の改築について
和田 正子 ( 共 産 )	1 平和な大田区のために 2 区民の暮らしを応援する区政へ 3 交通空白・不便地域にコミュニティバス ( ミニバス ) を 4 区民の命と健康を守るためにも荏原病院の医療内容の維持を
山崎 勝広 ( 民自未 )	1 区政運営について 2 安全なまちづくりについて 3 介護保険について
荒木 秀樹 ( ネ 無 )	1 大森日赤について 2 大森北一丁目開発事業について 3 高齢者福祉のこれからのありかたについて 4 指定管理者制度について 5 今年の新年会に出席しての区長の感想について 6 商店の元気について 7 防災について
丸山 かよ ( 公 明 )	1 A E D 設置について 2 食育について 3 事業仕分作業について
近藤 忠夫 ( 自 民 )	1 産業について 2 健康について 3 バリアフリー化について
岸田 哲治 ( 自 民 )	1 耐震対策について 2 広域避難場所について
伊藤 和弘 ( 自 民 )	1 駅前の自転車対策について
塩野目 正樹 ( 自 民 )	1 子供たちの安全安心について
大森 昭彦 ( 自 民 )	1 多摩川河川敷について 2 耐震強度偽装問題について 3 ゆとり教育について

質 問 者	質 問 事 項
渡部 登志雄 (公 明)	1 応急小口資金の大幅見直しについて 2 臨海斎場について 3 仮称「大森北一丁目開発」に伴い、大森のまちづくりについて
犬伏 秀一 (民自未)	1 区職員の服務について 2 区内の諸問題について
野呂 恵子 ( 緑 )	1 障がい者福祉について 2 教育について 3 危機管理について
田中 健 (民自未)	1 教育について 2 介護保険について
金子 悦子 (共 産)	1 障害者のくらしと人権を守るための改善を 2 よりよい介護保険制度のために
藤原 幸雄 (共 産)	1 羽田空港の安全・環境対策について 2 大田区の中小企業対策について

平成 18 年第 2 回定例会

質 問 者	質 問 事 項
鈴木 章浩 (自 民)	1 大田区の抱える諸課題と今後の展望について
荒川 善夫 (公 明)	1 介護保険制度について 2 環境問題について 3 特別支援教育について
大竹 辰治 (共 産)	1 くらし・平和を守る区政へ 2 今こそ「住民福祉の機関」として自治体本来の役割を 3 介護給付費準備基金を使って区民への支援策を 4 焼却中心から発生回避への転換のごみ行政へ
岸田 正 (民 主)	1 安心・活力・環境の視点からの大田区の施策を伺う
内田 秀子 (ネ 無)	1 清掃事業について 2 介護保険について
清波 貞子 (公 明)	1 子育てと地域支援 2 安心、安全の街づくり
奈須 利江 (ネ 無)	1 清掃事業について 2 指定管理者について 3 自治体行政とCSRについて
高瀬 三徳 (自 民)	1 教育について
松本 洋之 (公 明)	1 区政 60 周年にむけて 2 子育て支援策について 3 行財政改革について

質 問 者	質 問 事 項
都野 圭子 (民 主)	1 子育て支援について 2 小中学校教育について
有川 靖夫 (無 )	1 区職員の健康管理について 2 “大田区役所ミステリー事件”について 3 蚊の発生源対策について
岸田 哲治 (自 民)	1 消防団について
大森 昭彦 (自 民)	1 議会と区のあり方について 2 除細動器について 3 名所、旧跡と名称について
清水 菊美 (共 産)	1 介護保険制度改正にあたって緊急改善をすすめること。 2 自立支援法施行にともなって緊急改善をすすめること。
沼田 秀弘 (新 成)	1 安全なまちづくりについて 2 まちの緑化について
野呂 恵子 (緑 )	1 DVについて 2 保育について
黒沼 良光 (共 産)	1 少子化対策・子育て支援について 2 大規模校対策について 3 「武蔵野の路」に介護要支援を視野に入れたベンチの設置を
湯本 良太郎 (自 民)	1 ふるさとの浜辺・海苔資料館について 2 地域包括支援センター 設置したその後について 3 平日準夜小児初期救急診療のその後について 4 児童館について

平成 18 年第 3 回定例会

質 問 者	質 問 事 項
高瀬 三徳 (自 民)	1 東京オリンピックの開催を契機に考える区政運営について 2 都市災害対策について 3 品川区長の他界、ならびに、特別区区長会会長就任について
清波 貞子 (公 明)	1 平成 17 年度決算について 2 指定管理者制度について 3 がん検診の充実・拡大を 4 児童施設に本の整備を
金子 悦子 (共 産)	1 区政のあり方について(決算の内容について) 2 区民のための行政改革について 3 30 人学級のすすめ 4 障害者自立支援法の本格実施にあたって
山崎 勝広 (民 主)	1 区政の現状と今後について

質 問 者	質 問 事 項
奈須 利江 (ネ 無)	1 清掃事業について 2 区営住宅のアスベスト対策と管理について 3 廃棄物処理について
金子 富夫 (未 来)	1 地方自治法の改正に伴う日本の地方議会の新たな出発へ 大田区議会から手本となる区政・区議会基本条例の提案をしま しょう！
富田 俊一 (公 明)	1 職員の飲酒運転防止について 2 分権の時代における本区の施策について 3 障がい者施策について 4 区民の安全と安心について 5 介護保険について
飯田 茂 (公 明)	1 住宅対策について 2 区民の安心・安全対策について 3 子育て支援策について
塩野目 正樹 (自 民)	1 特別出張所について 2 不落随契について
海老澤 信吉 (自 民)	1 防災対策について 2 公園整備について
和田 正子 (共 産)	1 区立矢口西小学校の教育環境の改善を 2 交通不便地域にミニバスの運行を
鈴木 章浩 (自 民)	1 学校の緑化について 2 戦略的広報広聴活動の課題について 3 ふるさとの浜辺と内川の浄化について 4 路上喫煙禁止地区拡大について
永井 敬臣 (自 民)	1 大田区の産業振興の気構えと姿勢 2 ものづくり大田区の次世代の担い手の誇りを引出せ
藤原 幸雄 (共 産)	1 中小企業対策について 2 高齢者対策について
犬伏 秀一 (改 革)	1 区のかかえる諸問題について 2 教育問題について
渋谷 要 (共 産)	1 良好なまちづくりについて 2 蒲蒲線について
田中 健 (民 主)	1 選挙の開票作業について 2 介護保険について

平成 18 年第 4 回定例会

質 問 者	質 問 事 項
松原 茂登樹 (自 民)	1 行政サービスの格差と財政力格差について 2 施設管理の維持管理費について 3 防災問題について 4 教育問題について 5 障害者自立支援法について 6 羽田空港と大田区産業のかかわりについて 7 都区のあり方に関する検討会について
富田 俊一 (公 明)	1 いじめ対策について 2 羽田空港をめぐる諸問題について 3 教育について 4 19 年度予算緊急要望について
清水 菊美 (共 産)	1 区政のあり方について 2 来年度予算と新実施計画について 3 雇用確保・中小企業支援について 4 環境について(大気汚染、アスベスト対策)
岸田 正 (民 主)	1 安心な街大田について 2 教職員に対する社会人としての教育について 3 区の施設運営について
荒木 秀樹 (ネ 無)	1 大田区の教育の諸問題について 2 高齢者に関する諸問題について 3 防災問題について 4 産業振興について
近藤 忠夫 (自 民)	1 職員・議員の倫理について 2 ものづくりに関する支援・官学連携について 3 友好都市交流について
田口 仁 (公 明)	1 大学入学時の払込み一時金の貸し付け制度を 2 酢のカラダへの効用について 3 大田区の課題について 呑川・駐輪場・緑
岸田 哲治 (自 民)	1 障害者施設使用料の徴収方法について
大森 昭彦 (自 民)	1 教育について 2 スポーツ祭りのあり方について
都野 圭子 (民 主)	1 教育について 2 大田区政について
丸山 かよ (公 明)	1 行政サービス調査について 2 土地活用について 3 産業支援施設について 4 子どもドック事業について
菅谷 郁恵 (共 産)	1 保育行政の充実にむけて

質 問 者	質 問 事 項
大竹 辰治 (共 産)	1 障害者自立支援法による小規模作業所の新たな施設体系への移行について 2 呑川の浄化と悪臭対策について
安藤 充 (自 民)	1 大田区のまちづくりについて
黒沼 良光 (共 産)	1 再開発とまちづくり 2 三位一体の税源移譲について
沼田 秀弘 (新 成)	1 防災対策について

( 7 ) 予算・決算特別委員会の質疑事項 ( 総括質疑 通告 )

平成 18 年予算特別委員会・総括質疑

質 問 者	質 疑 事 項
永井 敬臣 ( 自 民 )	1 区政全般について
富田 俊一 ( 公 明 )	1 実施計画、はばたきおおたプラン 2015 の実現について 2 三位一体改革について 3 おおたドリーム債について 4 産業振興について 5 まちづくりについて 6 羽田空港再拡張と国際化について 7 防災について 8 教育について 9 基金について 10 介護保険について
渋谷 要 ( 共 産 )	1 予算案について 2 産業振興について 3 建築行政について 4 交通問題について
都野 圭子 ( 民自未 )	1 職員人件費と定数 2 職員給与に関する条例 3 区行政の情報化について
奈須 利江 ( ネ 無 )	1 アスベスト対策について 2 防災のまちづくりと建築行政について 3 清掃事業について 4 障害者自立支援法について

平成 18 年予算特別委員会・しめくり総括質疑

質 問 者	質 疑 事 項
荒木 秀樹 ( ネ 無 )	1 大田区の教育について
渋谷 要 ( 共 産 )	1 岩国住民投票の反響について 2 一連の建築事件の再発防止について 3 区民生活支援こそ今予算に盛り込むべきことについて 4 産業経済振興 ものづくりの常設展示場を
高橋 博 ( 公 明 )	1 大田区政について 2 「筋トレ」について 3 区民農園について
河津 章夫 ( 自 民 )	1 G S 池上について 2 産経部 工場表彰の件について 3 子育ての件

平成 18 年決算特別委員会・総括質疑

質 問 者	質 疑 事 項
田中 一吉 (自 民)	1 平成 17 年度決算について 2 経営計画について 3 各種計画について 4 9.21 東京地裁不当判決について
荒川 善夫 (公 明)	1 包括外部監査について 2 本年の改正法について 3 不登校について
菅谷 郁恵 (共 産)	1 区民の目線からみた決算について 2 暮らしと営業を守る区政について 3 子育て支援について 4 教育について
岸田 正 (民 主)	1 実質収支額について 2 公益通報者保護条例について 3 障害者自立支援法施行に関し、大田区の今後の対応 4 年金問題について
荒木 秀樹 (ネ 無)	1 高齢福祉全般 2 商業振興について 3 防災全般について 4 教育全般について 5 その他(日赤)

平成 18 年決算特別委員会・しめくり総括質疑

質 問 者	質 疑 事 項
内田 秀子 (ネ 無)	1 城南島火災事故 2 池上駅改修工事 3 清掃事業
田中 健 (民 主)	1 市場化テストについて 2 会計について
菅谷 郁恵 (共 産)	1 清掃について 2 子育て支援について 3 障害者自立支援法について
渡部 登志雄 (公 明)	1 特別区税について 2 人件費について 3 待機児童解消について 4 高額療養費支給制度について
河津 章夫 (自 民)	1 耐震偽装建築物建替え支援事業について 2 教育問題 3 第 2 回大田ドリーム債について



( 8 ) 委員会別請願・陳情審査件数と処理内訳

委員会 内訳		総務 財政	生活 産業	健康 福祉	都市 整備	こども 文教	議会 運営	観光 振興等 調査	交通 問題 調査	羽田 空港 対策	防災・ 安全 対策	計	
		前年からの継続	請願	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	陳情	6	1	12	10	12	1	0	2	0	0	44	
平成18年付託分	請願	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	4	
	陳情	4	5	23	23	12	1	0	3	0	0	71	
合計		10	6	37	33	26	2	0	5	0	0	119	
採 択	前年からの継続	請願										0	
		陳情			1			1					2
	平成18年付託分	請願											0
		陳情	1	4		6	3						14
	計		1	4	1	6	3	1	0	0	0	0	16
不 採 択	前年からの継続	請願										0	
		陳情	1	1		1	4						7
	平成18年付託分	請願			2		2						4
		陳情	1			8	6	1					16
	計		2	1	2	9	12	1	0	0	0	0	27
取 下	前年からの継続	請願										0	
		陳情	1		2	1	2						6
	平成18年付託分	請願											0
		陳情		1	1	1							3
	計		1	1	3	2	2	0	0	0	0	0	9
審 議 未 了	前年からの継続	請願										0	
		陳情											0
	平成18年付託分	請願											0
		陳情											0
	計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
継 続	前年からの継続	請願										0	
		陳情	4		9	8	6		2				29
	平成18年付託分	請願											0
		陳情	2		22	8	3		3				38
	計		6	0	31	16	9	0	0	5	0	0	67

( 9 ) 委員会別請願・陳情 ( 請願 4 件、陳情 115 件 )

総務財政委員会

10 件 ( 採択 1 件、不採択 2 件、取下げ 1 件、継続 6 件 )

受理番号	付託年月日	件名	議決年月日	結果
15-36	15.6.12	清潔で公正・公平な国民奉仕を貫く公務員制度の確立を求める陳情	18.12.8	継続
15-80	15.9.26	北馬込一丁目 7 番の法務省住宅跡地を大田区で取得し区民のために活用することを求める陳情	18.3.10	取下げ
17-9	17.3.2	永住外国人住民の地方参政権確立のための意見書採択を求める陳情	18.12.8	継続
17-12	17.3.2	在日外国人の地方参政権付与に反対する意見書採択を求める陳情	18.12.8	継続
17-22	17.3.10	廃プラスチックを焼却処分することをやめるよう国等に意見書提出を求める陳情	18.5.29	不採択
17-24	17.3.10	「定住外国人の地方参政権」付与に反対する陳情	18.12.8	継続
18-14	18.3.10	都区制度改革に関する陳情	18.12.8	継続
18-15	18.3.10	公共サービスの安易な民間開放は行わず、充実を求める意見書提出に関する陳情	18.3.28	不採択
18-81	18.11.30	JR 不採用問題の早期解決を求める意見書を国会に提出することを求める陳情	18.12.8	採択
18-87	18.11.30	大田区議会の区政調査費は 1 人当たり月に 23 万円。都内でも屈指に多い。都内他区では、領収書を公文書開示となるが、大田区だけは議会事務局には無いといふ。今、目黒区で問題化してる領収書問題の解決を早急にして下さいとお願いする陳情	18.12.8	継続

生活産業委員会

6 件 ( 採択 4 件、不採択 1 件、取下げ 1 件 )

受理番号	付託年月日	件名	議決年月日	結果
17-28	17.6.9	大田区平和都市宣言をレリーフとして設置することを求める陳情	18.5.29	不採択
18-8	18.3.2	雪谷特別出張所及び雪谷保育園の改築計画に関する陳情	18.3.10	取下げ
18-52	18.9.22	上限金利の引き下げ等により、中小零細事業者・消費者等の健全な生活を守り、多重債務問題根絶のため、「出資の受入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法律」及び「貸金業の規制等に関する法	18.10.16	採択

受理番号	付託年月日	件名	議決年月日	結果
18-60	18.10.2	律」の改正を求める意見書の提出に関する陳情	18.12.8	採択
18-62	18.10.2	美術作品の収蔵施設を備えた区民ギャラリーの開設に関する陳情	18.10.16	採択
18-66	18.10.2	「出資の受け入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法律」及び「貸金業の規制等に関する法律」に関する陳情 出資法の上限金利引き下げに関する陳情	18.10.16	採択

健康福祉委員会

37件（採択1件、不採択2件、取下げ3件、継続31件）

受理番号	付託年月日	件名	議決年月日	結果
15-35	15.6.12	奨学金貸与に関する陳情	18.12.8	継続
15-43	15.6.12	緊急一時保護（区制度）に関する陳情	18.5.29	取下げ
15-44	15.6.12	通所施設に関する陳情	18.5.29	取下げ
15-81	15.6.12	在宅酸素療法患者への医療費助成、電気代補助についての陳情	18.12.8	継続
16-77	16.12.1	大田区生活習慣病健診ならびにがん検診の拡充を求める陳情	18.12.8	継続
17-16	17.3.10	障害者自立支援法案の制定に対する意見書提出に関する陳情	18.12.8	継続
17-26	17.6.9	ゆうゆうくらぶ東六郷に屋内喫煙スペース確保を求める陳情	18.12.8	継続
17-27	17.6.9	ウォーキングマシン設置に関する陳情	18.12.8	継続
17-39	17.6.9	視覚障害者への支援量増加を求める陳情	18.12.8	継続
17-43	17.6.9	緊急一時保護（区制度）に関する陳情	18.12.8	継続
17-44	17.6.9	通所施設に関する陳情	18.12.8	継続
17-99	17.12.1	緊急一時保護 家庭委託 制度見直しに関する陳情	18.3.10	採択
18-16	18.3.10	障害者自立支援法による応益負担に関する陳情	18.12.8	継続
18-17	18.3.10	患者・国民負担増計画の中止と「保険で安心してかかれる医療」を求める請願	18.5.29	不採択
18-18	18.3.10	サービス利用や負担など介護保険の改善を求める請願	18.5.29	不採択
18-22	18.3.10	障害者自立支援法の施行に関する陳情	18.12.8	継続
18-28	18.6.9	障害者自立支援法を受けて障害者福祉制度の充実を求める陳情	18.12.8	継続
18-29	18.6.9	障害者自立支援法における大田区へ障害者福祉制度の充実を求める陳情	18.12.8	継続
18-30	18.6.9	障害者自立支援法の障害福祉計画施行に関する陳情	18.12.8	継続

受理番号	付託年月日	件名	議決年月日	結果
18-31	18.6.9	障害者自立支援法の基準報酬に関する陳情	18.12.8	継続
18-32	18.6.9	障害者自立支援法に伴う基準報酬について国への意見書提出に関する陳情	18.12.8	継続
18-33	18.6.9	障害者自立支援法による応益負担に関する陳情	18.12.8	継続
18-34	18.6.9	障害者自立支援法に伴う応益負担について国への意見書提出に関する陳情	18.12.8	継続
18-37	18.6.9	障害者自立支援法における「障害福祉計画」策定に関する陳情	18.12.8	継続
18-38	18.6.9	障害者自立支援法における「地域生活支援事業」施行に関する陳情	18.12.8	継続
18-39	18.6.9	障害者自立支援法における「地域生活支援事業」応益負担に関する陳情	18.12.8	継続
18-40	18.6.9	障害者自立支援法における「応益負担の見直しを国へ求める意見書提出」に関する陳情	18.12.8	継続
18-41	18.6.9	障害者自立支援法における「新たな基準・報酬単価への大田区独自の支援策」を求める陳情	18.12.8	継続
18-42	18.6.9	障害者自立支援法における「新たな報酬単価等の再考を国へ求める意見書提出」に関する陳情	18.12.8	継続
18-46	18.9.22	「肝炎問題の早期全面解決とウイルス性肝炎患者の早期救済を求める意見書」の提出を求める陳情	18.12.8	継続
18-47	18.9.22	医療機関によるカルテ廃棄の阻止に向けた働きかけに関する陳情	18.12.8	継続
18-49	18.9.22	2007年度予算編成にあたっての「心身障害者(児)通所訓練事業」に関する陳情	18.12.8	継続
18-50	18.9.22	「心身障害者(児)通所訓練等事業」について東京都への意見書提出に関する陳情	18.12.8	継続
18-51	18.9.22	運動習慣化のための「うんどう遊園」等の施設設置に関する陳情	18.12.8	継続
18-61	18.10.2	患者さんの生命と健康を守るために、安全・安心の医療と看護の実現につながる看護師等の増員を求める陳情	18.12.8	取下げ
18-79	18.11.30	介護サービスの充実に関する陳情	18.12.8	継続
18-86	18.11.30	患者さんにゆきとどいた医療・看護を提供するために、「第六次看護職員需給見直し」と「看護師確保法・基本方針」の見直しを求める陳情	18.12.8	継続

## 都市整備委員会

33件(採択6件、不採択9件、取下げ2件、継続16件)

受理番号	付託年月日	件名	議決年月日	結果
15-41	15.6.12	補助 44 号道路計画の見直しに関する請願	18.12.8	継続
16-72	16.12.1	たばこ喫煙場所の新設を求める陳情	18.12.8	継続
16-73	16.12.1	路上喫煙禁止地区拡大の陳情	18.12.8	継続
17-36	17.6.9	区の平和島駅前駐輪場に関する陳情	18.5.29	不採択
17-42	17.6.9	池上通り沿い山王三丁目商業地域の高度規制化に関する陳情	18.12.8	継続
17-63	17.10.7	通称佐伯山の緑の保全ができなかった経緯の説明を区(行政)に要請し、今後の対策の検討と創出を要請する陳情	18.12.8	継続
17-65	17.10.7	大田区北馬込1丁目7番15、16号の法務省住宅跡地の東側及び北側の通行権保全についての陳情	18.12.8	継続
17-84	17.12.1	中央四丁目・五丁目周辺地区の住環境の維持・改善と安全の確保に関する陳情	18.12.8	継続
17-85	17.12.1	中央四丁目・五丁目周辺地区の緑豊かで良好な住環境の保全に関する陳情	18.12.8	継続
17-98	17.12.1	大森海苔資料館の建設に関する陳情	18.2.23	取下げ
18-1	18.3.2	大田区北馬込1丁目7番15、16号の法務省官舎跡地を公園と、災害時の避難場所として、大田区で取得し区民の為に活用することを願う陳情	18.3.10	採択
18-3	18.3.2	区立小学校の南門へ何年もオートバイ等を放置するのを見て怒りの陳情	18.3.10	採択
18-7	18.3.2	入新井西公園の一部を自転車駐車場にしてほしい陳情	18.3.10	採択
18-9	18.3.2	大森海苔資料館の協議会設置を求める陳情	18.3.10	採択
18-12	18.3.10	矢口中町会における公園用地取得に関する陳情	18.3.28	採択
18-23	18.6.9	大田区まちなみ整備事業についての陳情	18.6.19	不採択
18-24	18.6.9	中高層建築物に対する大田区の対応に関する陳情	18.12.8	継続
18-35	18.6.9	地番 上池台5丁目387-1を公園化(災害時の一時集合場所)するための陳情	18.12.8	継続
18-43	18.6.9	これからの清掃事業についての陳情	18.10.2	取下げ
18-44	18.9.22	「廃プラスチックの焼却処理と熱回収」に関する陳情	18.12.8	継続
18-48	18.9.22	「指定喫煙場所」の設置に関する陳情	18.12.8	採択

受理番号	付託年月日	件名	議決年月日	結果
18-56	18.10.2	大森西図書館近くの、スクールゾーン白線附近へ永く放置してある 20 台以上の自転車、オートバイの早期撤去を求める陳情	18.10.16	不採択
18-63	18.10.2	これからの清掃・リサイクル事業についての陳情	18.12.8	継続
18-64	18.10.2	区営住宅の制度改定に関する陳情	18.10.16	不採択
18-67	18.10.2	大田北行政センターまちなみ整備課のアカンタビリティに関する陳情	18.10.16	不採択
18-68	18.10.2	大田北行政センターまちなみ整備課の接遇に関する陳情	18.10.16	不採択
18-69	18.10.2	大田北行政センターまちなみ整備課の情報開示に関する陳情	18.10.16	不採択
18-70	18.10.2	大田北行政センターまちなみ整備課の都市公園法軽視に関する陳情	18.10.16	不採択
18-71	18.10.2	「廃プラスチックの焼却による熱回収について」の陳情	18.12.8	継続
18-72	18.10.2	「東京 23 区清掃一部事務組合の合併事業への支出について」の陳情	18.12.8	不採択
18-83	18.11.30	糎谷駅周辺と環状 8 号線の糎谷駅交差点付近の駐輪自転車の整理と駐輪場増設に関する陳情	18.12.8	継続
18-84	18.11.30	糎谷駅周辺の自転車の整備に関する陳情	18.12.8	継続
18-85	18.11.30	糎谷駅附近の駐輪場に関する陳情	18.12.8	継続

こども文教委員会

26 件（採択 3 件、不採択 12 件、取下げ 2 件、継続 9 件）

受理番号	付託年月日	件名	議決年月日	結果
15-105	15.10.6	「保育園民間委託・民営化検討会」を設置し、大田区独自のガイドラインの作成を求める陳情	18.3.28	取下げ
15-108	15.10.6	民間委託保育園が連携して「民間委託保育園連絡協議会」を設置し保育の質を高めることを求める陳情	18.3.28	取下げ
16-55	16.10.8	義務教育の土台を守り、教育の機会均等を保障する義務教育費国庫負担制度の堅持を求める陳情	18.12.8	継続
16-56	16.10.8	教育基本法改正について、慎重審議を求める意見書を国会に提出することを求める陳情	18.12.8	継続
16-63	16.10.8	教育基本法改正を国に求める意見書に関する陳情	18.12.8	継続

受理番号	付託年月日	件名	議決年月日	結果
16-80	16.12.1	教育基本法の「改正ではなく、これを生かす施策を進めること」を求める意見書を国会に提出することを求める陳情	18.12.8	継続
16-85	16.12.1	東京都に対し「都加算補助の見直し・包括化」は行わず、現行の補助を維持・拡充することを求める意見書の採択を求める陳情	18.3.28	不採択
17-82	17.10.7	大田区立保育園・学童保育料改定他での歳入分に関する陳情	18.12.8	継続
17-86	17.12.1	煙草を区立小中学校からの追放を求める陳情	18.3.10	不採択
17-90	17.12.1	保育の都加算事業を維持するよう、東京都への意見書提出を求める陳情	18.3.28	不採択
17-93	17.12.1	保育室に子どもを預けている保護者の負担金補助制度に関する陳情	18.12.8	継続
17-97	17.12.1	東京都に対して「東京都保育所運営費補助事業の廃止・再構築に関する意見書」をあげていただきたい陳情	18.3.28	不採択
18-2	18.3.2	池上の教育センターは毎日日の丸を掲揚して居らずマズイ。何故掲揚しない。日の丸掲揚を雨天を除いて必ずお願いする陳情	18.3.10	不採択
18-6	18.3.2	すべての子どもがすこやかにそだつ大田区をめざす請願	18.3.10	不採択
18-11	18.3.10	保育施策に対する陳情	18.3.28	不採択
18-13	18.3.10	区立小学校、中学校で国旗掲揚塔の使用を最大限の努力を以っての活用を強く求める陳情	18.3.28	不採択
18-20	18.3.10	ろう学校と保育園の両立を求める陳情	18.3.28	採択
18-21	18.3.10	すべての子どもたちにゆきとどいた教育をすすめるための請願	18.5.29	不採択
18-26	18.6.9	学童保育の時間延長に関する陳情	18.12.8	継続
18-27	18.6.9	区立図書館での読みきかせボランティア活動への支援を求める陳情	18.6.19	採択 (意見付)
18-36	18.6.9	大田区の学童保育室でも、障害児の入室については学年延長をしていただきたい陳情	18.12.8	継続
18-45	18.9.22	大田ユネスコ協会に補助する陳情	18.12.8	継続
18-53	18.9.22	就学援助を受ける生徒が多いのに卒業アルバム代が高い。区内全校の表面表紙は西暦だけで元号併記する事と、しらべないで私費会計と言って恥じないが 1/3 近	18.10.2	不採択

受理番号	付託年月日	件名	議決年月日	結果
18-54	18.9.22	くが援助対象の事を調査し、元号を忘れない様な事を求める陳情	18.10.2	不採択
18-55	18.9.22	糺谷小学校、東糺谷小学校、出雲小学校、かつて区内随一の事件の起こった学校が今年も卒業式、入学式に校内の看板へ平成18年度入学式が書いてない。書かない事は生徒指導の手抜きに等しい。元号を書く事を強く求める陳情	18.10.2	不採択
18-58	18.10.2	道路工事は針金でしばる。区立小学校スクールゾーンの看板(ウマ)が放置に近い状態でしばってない。風で飛ぶ。危ないからひもでしばる事を求める陳情	18.10.16	採択

議会運営委員会

2件(採択1件、不採択1件)

受理番号	付託年月日	件名	議決年月日	結果
17-91	17.12.1	議員海外派遣の事前広報についての陳情	18.3.10	採択
18-25	18.6.9	大田区議会陳情審査除外基準に関する陳情	18.10.2	不採択

交通問題調査特別委員会

5件(継続5件)

受理番号	付託年月日	件名	議決年月日	結果
15-33	15.6.12	穴守稲荷駅(京浜急行空港線)のバリアフリー化を進める立場からエスカレーターと「上り線専用改札口」の設置を要望する請願	18.12.8	継続
15-56	15.6.12	京急空港線穴守稲荷駅にエレベーター・エスカレーター等の設置を求める陳情	18.12.8	継続
18-65	18.10.2	下丸子、矢口、多摩川地域にコミュニティバス路線の新設を求める陳情	18.12.8	継続
18-73	18.11.30	糺谷駅前再開発に対する陳情	18.12.8	継続
18-80	18.11.30	糺谷駅前地区第一種市街地再開発事業に関する陳情	18.12.8	継続



## (10) 決議・意見書

### 耐震強度偽装問題に対する特別措置法の制定を求める意見書

昨年 11 月 17 日に国が公表した耐震強度偽装事件は、生活の根幹である住居の安全性を無視し、多くの人の生命と財産を脅かした極めて非道な事件であり、発覚から 4 か月以上経過した現在においても事件の全容解明が進んでおらず、再建の糸口も見えない状況が続いています。

国は、建築主の瑕疵担保責任が誠実に履行されていない中での緊急措置として、分譲住宅に限り公的支援の実施を決定しました。

この支援策は、自然災害と同等の措置である地域住宅交付金の活用という国と自治体が一定割合を財政負担するというものであり、支援対象となっている分譲住宅でさえ、危険な建築物の除却や再建が進まない現状を見ると、現在の枠組みでは不十分と言わざるを得ません。

また、支援の対象となっていない賃貸住宅においては、周辺住民への影響は分譲住宅と同様であるにもかかわらず、事業主の資力がないために危険な状態のまま放置されることが危惧されています。

大田区においては、耐震強度を満たしていない物件が調査により明らかになり、区としても再建に向け可能な限りの支援を行っておりますが、現在もなお、そこに居住せざるを得ない住民や、倒壊の恐れがある建物の近隣に居住する住民の方の不安、心労は甚大なものと察しています。

一連の事件に関し、このような事態を招いた国の責任は極めて重大であり、今まで自治体が支援のために負担した費用を補填することを含め、支援についての費用を国が全面的に負担するべきであります。

さらに、早期に事態の收拾を図るため、現状を踏まえたより実効性の高い支援内容への見直しを行い、個人資産の形成に公費を投入することの妥当性について、広く区民の理解が得られるよう法的根拠の明示を求めます。

よって大田区議会は、一刻も早い再建を望む立場から、国会及び政府に対し、下記の事項を強く要請します。

#### 記

- 1 耐震強度偽装問題への公的支援の根拠を明らかにするとともに、こう着状態を打破するための再建支援ができるよう特別措置法の制定を行うこと。
- 2 支援にかかる費用を国がすべて負担し、自治体が緊急の支援策として負担してきた費用を全面的に補填すること。
- 3 建築確認制度の徹底的な検証を行い、罰則強化を含め、再発防止に向けた抜本的な制度改正を行うこと。

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出します。

平成 18 年 3 月 28 日

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
国土交通大臣 あて

大田区議会議長名

## 第 31 回オリンピック競技大会の東京招致に関する決議

オリンピックは、スポーツを通じて世界中の人々が感動を分かち合うとともに、友好親善と相互理解を深めることにより、平和でよりよい世界の建設に貢献する世界最大のスポーツ・文化の祭典である。

首都である東京において、約半世紀ぶりにオリンピックを開催することは、成熟した都市東京の姿を改めて世界に示す絶好の機会である。

近い将来に国際定期便の就航が予定されている羽田空港を抱えるわが大田区においては、オリンピックの開催は、区民と世界の人々との近しい交流を促進し、区民が直接世界の平和に貢献することができるまたとない契機となる。

また、沖合展開事業により生じた空港跡地の利用や、2015 年を目標年次とした羽田空港アクセス強化のための路線である蒲蒲線の整備により、世界に誇る技術力を持つ区内産業の一層の活性化と、区民の生活基盤の更なる充実が図られ、未来の大田区の都市づくりの推進力となることが大いに期待できるものである。

よって、大田区議会は、東京都民の夢である 2016 年第 31 回オリンピック競技大会の東京招致を全面的に支援する。

以上、決議する。

平成 18 年 3 月 28 日

大田区議会

## 北朝鮮のミサイル発射に対し厳重に抗議する意見書

平成 18 年 7 月 5 日、北朝鮮が弾道ミサイル・テポドン 2 号を含む 7 発のミサイルを発射したことが確認された。

いずれも我が国に接する日本海に落下したが、国際社会の強い危惧と懸念、自制を求める事前の警告を無視して、北朝鮮がミサイル発射を強行したことは、我が国の平和と安全と主権を脅かし、朝鮮半島の統一を希求する自国民の願いを踏みにじり、国際社会、とりわけ東アジアの平和と安定と秩序を乱す重大な問題であり、拉致問題を抱える我が国にとって断じて許しがたい行為である。

そもそも、ミサイルの発射は、船舶・航空機の航行の安全に関する国際法上の問題であるとともに、日朝平壤宣言にも違反するものでもあり、核問題に関する 6 カ国協議の共同声明とも相いれないものである。

北朝鮮は、ミサイル発射を「自主権の問題」と強弁しているが、国際社会への脅威を「自主権」というのは、平和を願う国際社会に対するあからさまな挑戦であり、厳しく糾弾されるべきものである。

よって大田区議会は、北朝鮮のミサイル発射に厳重に抗議するとともに、日本国政府に対し、東アジアの平和と安全と信頼関係を築くため、国連安全保障理事会で採択された北朝鮮に 6 カ国協議に復帰する等を求めた非難決議の履行など、北朝鮮が断じてこのような行為を繰り返すことのないよう、毅然とした対処をすることを強く求めるものである。

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出する。

平成 18 年 7 月 19 日

内閣総理大臣

外務大臣

あて

大田区議会議長名

## 交番の整理・統合計画の再考を求める意見書

大田区は、「安心・輝き・潤いのあるまち」の実現のために、犯罪等が起こりにくいまちを目指して、警察及び区民と連携して、地域社会が一丸となり、安全対策に取り組んでいます。

また、凶悪な事件が続発する昨今、地域社会に最も身近な存在である交番の役割は、ますますその重要性を増しています。わが国の交番制度は、世界的にも評価されており、交番は、犯罪や非行の発生抑止力を持ち、地域の安全の確保に大きな役割を果たしております。

しかし、警視庁は、6月26日、交番機能強化の取組みにあたり、交番の警察官の配置に改善を図るとして都内121か所の整理対象交番を発表しました。大田区においては、都内38自治体のなかでは最も多く10か所の交番が対象となっております。

今回の警視庁の発表は、地域住民に不安を与えており、交番を整理・統合するという計画は、区民の理解を得ることが困難であり、警察官又は交番相談員が昼夜を問わず常駐し交番機能を強化するなど、積極的な取組みが、望まれております。

よって、大田区議会は東京都及び警視庁に対し、交番の整理・統合計画の再考を強く要望いたします。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出します。

平成18年7月21日

東京都知事  
警視總監  あて

大田区議会議長名

## 出資法及び貸金業規制法の改正に関する意見書

消費者金融、信販会社、銀行系金融会社など複数業者から市場金利からあまりにもかけ離れた高利をもって返済能力を超えた借入をして、苦しんでいる多重債務者が後を絶たず、社会問題化している。

こうした背景には、貸金業規制法第 43 条の「みなし弁済」規定を適用させ、利息制限法の上限（年 15～20%）は上回ってはいるが、出資法の上限（年 29.2%日賦貸金業者及び電話担保金融は年 54.75%）よりは低い金利、いわゆる「グレーゾーン金利」で営業する貸金業者が多いという実態がある。

このような高金利で一旦借入をしてしまえば、一般の区民であれば家計を圧迫し返済困難に陥ることは想像に難くない。

こうしたなか、平成 18 年 1 月最高裁判所は、貸金業者の利息制限法の上限を超える利息について「みなし弁済」規定の適用条件を厳格に解釈した判決を示した。

政府では、現在会期中の臨時国会において消費者金融の規制強化を目的とした貸金業規制関連法案の改正を目指すとしている。今回の改正時期を捉え、多重債務による深刻な被害をくいとめ、借受者の不安を一日でも早く解消すべきである。

よって、大田区議会は、国会及び政府に対し、法改正にあたり次の事項を実現するよう強く要請する。

- 1 出資法第 5 条の上限金利を、小額短期貸付などの例外を設けることなく一律に利息制限法第 1 条の制限金利まで引き下げること
- 2 貸金業規制法第 43 条のいわゆる「みなし弁済」規定を撤廃すること
- 3 出資法における日賦貸金業者及び電話担保金融に対する特例金利を廃止すること
- 4 保証料名目での出資法及び利息制限法の脱法を禁止すること

以上、地方自治法第 99 条の規定に基づき、意見書を提出する。

平成 18 年 10 月 16 日

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
金融担当大臣     あて

大田区議会議長名

## 北朝鮮の核実験に対し厳重に抗議する決議

北朝鮮は、10月9日に核実験を実施したと発表した。

国際社会は、北朝鮮に対し、10月3日の核実験予告の表明以後、国連安全保障理事会の議長声明により深刻な懸念を発し、自制を求めていたところである。しかし、北朝鮮がこれを無視して核実験を強行したことは、唯一の被爆国である日本にとって許しがたい行為であり、平和を希求する北東アジア、そして国際社会にとって重大な脅威である。

北朝鮮は、本年7月の弾道ミサイル発射、そして今回の核実験と日朝平壤宣言に明らかに反する行為を繰り返しており、平和を求める大田区議会は、到底これを容認することはできない。

よって、大田区議会は、北朝鮮の核実験に厳重に抗議し、核開発計画の即時放棄と6カ国協議への無条件復帰を強く求める。

また、大田区議会は、政府に対し、北朝鮮が核開発を中止するように国際社会と連携して断固とした姿勢で対処するとともに、平和的外交での解決を強く求める。

以上、決議する。

平成 18 年 10 月 16 日

大田区議会

## ＪＲ不採用問題の早期解決を求める意見書

旧国鉄が分割民営化され、ＪＲ各社が発足してから、20年近くが経過いたしました。

しかし、移行時点で発生した職員の不採用問題は、いまだに解決しておらず、不採用のままとなっている当時の職員も、既に高齢となっています。

この間、国際労働機関（ＩＬＯ）理事会が日本政府に対し、「政治的・人道的見地に立った話し合いを、すべての関係当事者間で推進するように」と6度の勧告を、さらに、本年11月には、「ＩＬＯによる援助の受け入れを真剣に検討するように」と7度目の勧告を出しています。

このように、長引く不安定な状態は、当事者だけでなく、その家族にも深刻な影響を与えており、人道的見地に立って速やかに問題解決を図ることが重要であると考えます。

よって、大田区議会は、国会及び政府に対し、関係者に積極的に働きかけるなど、ＪＲ不採用問題の早期解決に向けて一層努力するよう強く要請いたします。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成18年12月8日

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣

総務大臣

厚生労働大臣

国土交通大臣

あて

大田区議会議長名

## (11) 国内視察

### 常任委員会行政視察

委員会	視察先	調査事項	視察日
総務財政	帯広市  旭川市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 帯広・十勝エリア・ツアー造成促進事業</li> <li>・ 幸福ふれあい広場整備事業</li> <li>・ 第五期帯広市総合計画の概要について</li> <li>・ 北彩都あさひかわ整備について</li> <li>・ 旭山動物園の概要について</li> </ul>	7月3日～5日
生活産業	北見市  網走市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「中心市街地活性化」諸施策について</li> <li>・ 事業化等スタートアップ支援事業</li> <li>・ 新製品創出支援事業</li> <li>・ 網走市ものづくりフォローアップ事業</li> </ul>	8月28日～30日
健康福祉	北九州市  岡山市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護保険、自治体直営の地域包括支援センターについて</li> <li>・ 総合保険福祉センター「アシスト21」</li> <li>・ 暮らしやすい福祉のまちづくり条例及びその推進表彰事業について</li> </ul>	7月5日～7日
都市整備	福岡市 大牟田市  熊本市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ キャナルシティ福岡</li> <li>・ 大牟田エコタウンプラン</li> <li>・ 有明エコタウン（オメガ）サイト計画</li> <li>・ わが輩通りポケットパーク整備</li> </ul>	9月4日～6日
こども文教	多賀城市  山形市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次世代育成支援行動計画</li> <li>・ 子育てサポートセンター</li> <li>・ 少人数学級編成について</li> </ul>	8月31日～9月2日



特別委員会行政視察

委員会	視察先	調査事項	視察日
観光振興等調査	仙台市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仙台市の観光振興について</li> <li>・タイ国政府観光庁との観光に関する相互協力協定の締結について</li> <li>・仙台市シティセールス戦略プラン</li> </ul>	11月13日～14日
交通問題調査	大阪市 高石市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・赤バス事業について</li> <li>・南海本線、高師浜線連続立体交差事業について</li> </ul>	9月7日～8日
羽田空港対策	神戸空港 伊丹市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神戸空港の概況及び今後の展開</li> <li>・空港を生かしたまちづくり、地域活性化</li> <li>・伊丹スカイパーク</li> </ul>	8月3日～4日
防災・安全対策	米子市 境港市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米子市安心安全情報ネットワーク</li> <li>・鳥取西部地震における市の対応について</li> <li>・境港市国民保護計画について</li> </ul>	10月18日～19日

## (12) 海外視察

大田区議会北京市朝陽区親善訪問

派遣期間

平成 18 年 10 月 17 日（火）から 10 月 21 日（土）まで

派遣場所

中華人民共和国 北京市朝陽区、北京市

派遣議員

河津章夫、海老澤信吉、大森昭彦、松原茂登樹、山崎勝広、岸田正、  
田中健、黒沼良光

大田区議会セーラム市親善訪問

派遣期間

平成 18 年 10 月 26 日（木）から 11 月 2 日（木）まで

派遣場所

アメリカ合衆国 マサチューセッツ州セーラム市（姉妹都市）、ボストン市  
ニューヨーク州ニューヨーク市  
カリフォルニア州サンフランシスコ市

派遣議員

永井敬臣、小原直美、松原秀典、高瀬三徳、鈴木章浩、安藤充、  
岸田哲治、伊藤和弘

## 大田区議会北京市朝陽区親善訪問団報告

はじめに

団長 河津章夫

大田区議会北京市朝陽区親善訪問団の結成と目的について報告します。

遠く 1976 年（昭和 51 年）天野幸一大田区長（当時）朝陽区訪問に始まり、ついで 1994 年（平成 6 年）西野善雄区長朝陽区訪問を重ね、その年の 8 月第 6 回日中青少年交歓キャラバンの参加を経て、10 月には索連生朝陽区長（当時）大田区訪問があり、1997 年（平成 9 年）7 月 28 日西野善雄区長朝陽区訪問、翌年（平成 10 年）9 月に合意書締結を果たしました。来年 2007 年は、交流 10 周年の記念の年を迎えることになりました。

訪問団結成に向けて、多くの会派の参加を求め、自民・民主・共産の三会派の結成となりました。このことは大変意義深いことであり、議会を挙げて賛同の意を表しました。三会派による訪問団は、自らその目的に慎重な討議を重ね「親善訪問・行政視察概要 行程表」にあるとおり内容の濃い旅程となりました。

北京オリンピック開催をひかえた都市計画・区画整理・諸施設の進捗状況、中国国民の各々の計画に対する反応、そしてオリンピック終了後の中国経済の推移と多岐にわたる項目で交流交換会の機会を設けました。特に団長として、感銘を受けたことは 5 日間にわたって通訳をされた張訳（チョウ・イ）さんの言葉でした。

「この度の訪中団大田区議会の皆さんと接して、今までの訪中団の方々とは異なり、改めて日中交流の在り方を見直す機会となりました。」と挨拶されたことです。

真剣に真摯に、全ての機会につつまんだ討議・会話のキャッチボールが、張訳（チョウ・イ）さんにして言わしめたものと考えます。こうした対応が続けば日中関係は更に良好になり、誠実でまじめな意図からの行動を示して近隣諸国の人々に理解と納得を求め、世界平和の一助になることを望みたい。各団員の諸氏に感謝します。

各団員の報告書に全ての訪中団の意義が込められています。ご一読を願い、あいさつとします。

## 大田区議会北京市朝陽区親善訪問団 親善訪問・行政視察 概要

訪問期間 平成 18 年 10 月 17 日（火）～ 10 月 21 日（土） 5 日間

訪問都市 友好都市 中華人民共和国 北京市朝陽区  
 視察都市 中華人民共和国 北京市

訪問団員 団 長 河津 章夫 副団長 山崎 勝広 会 計 田中 健  
 団 員 海老澤信吉 団 員 大森 昭彦 団 員 松原茂登樹  
 団 員 岸田 正 団 員 黒沼 良光

### 行程

月 日	都市名	調査内容
10 月 17 日(火)	東京（成田）発 北 京 着  北 京 市	日本航空 781 便（エコノミークラス）  まちづくりについての視察【質疑応答】 ・オリンピックに向け、区画整理の問題 ・区の目指すまちづくり、抱える問題点 ・交通施策
18 日(水)	北 京 市	<朝陽区親善訪問> 朝陽区人民代表大会常務委員会表敬訪問 まちづくりについての視察【現地視察】 北京市工人体育場ほかスポーツ施設
19 日(木)	北 京 市	人民大会堂視察及び北京市議員懇談会 事前学習に基づく北京市の文化施設視察
20 日(金)	北 京 市	北京市視察 胡同廻り（旧き北京を巡る） 途中、民家訪問 日本から進出した企業の視察 荏原機械（中国）有限公司
21 日(土)	北 京 発  東京（成田）着	視察のまとめ 日本航空 782 便（エコノミークラス）

### 視察経費等

#### （ 1 ）旅費

内 訳 (1 人当り)	航空賃等交通費	183,430 円	航空賃、鉄道賃、車(バス)賃
	宿 泊 料	62,000 円	宿泊料金、食事料金(朝・夕)等
	そ の 他 経 費	47,060 円	専門通訳料、昼食費、空港税、空港施設使用料、準備に係わる諸経費等

#### （ 2 ）宿泊ホテル

長富宮飯店（ 4 泊）

## まちづくりについて視察【質疑応答】

団員 岸田 正

大田区議会北京市朝陽区親善訪問団は、10月17日（火）午後より朝陽区分局において「朝陽区のまちづくりについて」説明を受け、質疑討論を行いました。

我々親善訪問団を副局長の張氏他7名が迎えてくれました。朝陽区の概観は張副局長が、北京市の建設計画は、土地使用や施設管理を担当している宋課長が説明をしました。

朝陽区は北京市の東部と東北部に位置し、東経116度21分から116度42分、北緯39度48分から40度09分にまたがっています。東は通州区と隣接し、西は海淀区、西城区、東城区、崇文区などに、南は豊台区、大興区などに、北は順義区、昌平区にそれぞれ隣接しています。朝陽区は北京市18区ある中の1区で最も面積の大きい行政区であり、南北の長さは28kmで、東西の幅は17kmです。総面積は472km<sup>2</sup>、総人口270万人で改革区とも呼ばれています。

朝陽区分局は2003年に造られ、北京市計画委員会に属し、朝陽区の企画管理や行政を行っています。北京市都市計画は、北京市計画委員会が全体計画を作り、各区・各分局が実施しています。

朝陽区分局は6課1室で構成され、企画用地課・総合課・企画審査課・企画法制課・監督課・連合室があります。

### 朝陽区発展戦略

オリンピック促進戦略。オリンピック主会場の優勢さを発揮し、オリンピックのためにサービスを提供することとそれを契機に発展することの両立をめざします。全区は力を尽くして、2008年のオリンピックを保障する決意をし、オリンピックファンクション・エリアの建設を推進し、緑色オリンピック・人文オリンピック・科学技術オリンピックの理念を着実に進め、新しい発展のための優れた力を作り出します。

北京市オリンピック建設計画は、北京市計画委員会が管理しており、朝陽区はオリンピック付属施設の管理と行政を担っており、特に環境管理を行っています。建設計画は2007年までにほぼ終了します。

### 北京市における、2004年から2020年までの建設計画

計画には、首都経済のことが定められており、初期段階は2004年～2008年オリンピックまで、中期は2009年～2020年、最終は2021年から2050年の3段階になっています。

2020年における北京市の人口規模は1,800万人に抑える予定で、うち30%が朝陽区に住むようになります。

現在、北京にある外国商社の60%以上、3,000を超える外国会社と167の国際新聞機関が朝陽区に集まっています。「世界500強」企業のうち158社が北京に進出しましたが、その中の3分の2が朝陽区を拠点としています。駐中外国大使館の中で、ロシア、ルクセンブルク以外は、すべて朝陽区にあります。

朝陽区は、区内を6の用途地域に分け目標を掲げ開発を進めています。

北京電子城東区は市内東部の酒仙橋にあり、北が空港高速道路、東が京包鉄道、西が四環路、南が東風南路と接していて、10.5平方キロの面積を占めてお

り、“一五”期間中の投資、建設を重点とした電子作業基地となっています。現在、この区域には電子企業が200社、外資系企業が29社、国家レベルの電子科研究所が4社、大中型旅行ホテルが5軒、中高級レベル電子学院が5校あります。近年来、ハイテク技術の導入により、区域内で一群の大型電子基幹企業が育ち、通信、コンピューター(ソフト)、モニター、カラー・ブラウン管、デジタル視聴、新型部品などを主とするハイテク技術産業群を形成、デジタル化、情報化、ネット化と発展していて、電子情報産業を中心とした多機能・総合的な電子ハイテク産業団地が、基本的に形成されています。



朝陽区のまちづくりについて説明を受ける

電子城西区は北京市内の北部の望京にあり、総面積は4.16平方キロを占めています。2004年以来、モトローラ、ノキア、プルデンシャル、ソニー・エリクソン、サムソン電子、BMWなどの大企業が続々と参入してきています。

電子城北区は中環村核心区とオリンピック村、アジア・オリンピック村にあり、総面積4.2平方キロ、電子通信産業の研究開発を主とし、ハイ・レベルの製造業を従とする産業発展の新しい地区が、重点的に建設されています。北京科学技術部と北京市人民政府が正式に許可して建てられた電子情報産業を主体とする、多機能、総合的な科学技術地域であり、首都の都市計画中、重点発展区の中の一つとなっています。電子城はGDPの向上に貢献しています。

#### 【質疑応答】

問 土地の値段はどのように決まるのですか。

答 地区により値段が違います。中心地区の土地の値段は国がコントロールしており、667㎡300万元が最低値段です。

問 緑地地域の開発は文化施設とどう調和を図っているのでしょうか。

答 朝陽区は名所旧跡が少ない。特にこれといった方策はありません。

問 オリンピックを迎え、施設完成度はどのくらいでしょうか。

答 オリンピック施設の70%が朝陽区にあります。2007年までにメイン施設の建築・内装は終える予定です。

問 地方からの出稼ぎ労働者対策はありますか。

答 中国は戸籍管理を厳しくしているので管理はできます。対策は、政府が行う問題です。しかし、地方からの出稼ぎ労働者が働いている、オリンピック関係の工事が終了しても、第11新5ヵ年計画プロジェクトがあり、オリンピック関係の工事より規模が大きく、働く場を失うようなことはありません。

問 朝陽区は、どのような階層をターゲットに街づくりを進めているのでしょうか。

答 朝陽区は、北京市の中で国際的・スポーツ的都市づくりを目指しており、若干バランスが狂っているかも知れません。立ち退きを迫られた国営住宅の住民や、取り壊された住宅の住民には、経済的な補償の措置を行っている。朝陽区に住みたくても経済的に無理な場合は、住める場所に住み替えざるをえません。このことは、他の都市でもそのようにしていることです。朝陽区は年間12万人の人口増があります。

問 鉄道の今後の計画はどのようになっていますか。

答 朝陽区に關係する計画は、3路線ある。それぞれ 2007、2009、2012 年完成を予定しています。

問 開発にあたり環境問題はありますか。

答 10月1日までに、車の排出ガス基準を作りました。政府は、マイカ - 通勤をやめるよう進めています。

問 都市づくりにおける、住民の権利保護はどのようになっていますか。

答 法律で決められた事業は、計画どおり実行されます。

以上が、朝陽区の「まちづくりについて」説明を受け質疑応答を行った事です。

私見 中国に入国した午後すぐに、朝陽区を訪問し説明を受けたため、当日説明を受けただけでは十分理解できたとはいえなかった。

通訳を通じての説明や質疑応答であったため、十分意思疎通できなかった部分があった。

しかし友好親善の全期間を通じ、説明されたことが理解できたように思う。

中国は、ものすごい勢いで発展変化している。今後、中国を無視することはできない。

市民社会では、格差が大きく生じている。

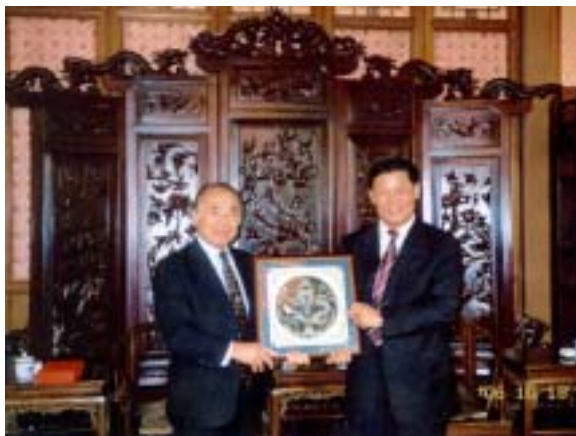
環境問題は、今後大きくクロ - ズアップされるだろう。

## 朝陽区人民代表大会常務委員会表敬訪問

団員 大森昭彦

河津団長を始めとする 8 名の議員訪問団に、通訳を同行の上、北京市東城区にある古い文化遺跡の迎賓館に招かれ、北京市朝陽区人民代表大会常務委員会主席(朱家麒)様を始めとして、干五一氏、孔徳琴氏、朱春露氏の各副主任と、職員 2 名による関係者の皆さんの出迎えを受けました。

まず河津団長より、「大田区と北京市朝陽区が友好都市となって 9 年目を向かえるにあたり、この間社会情勢をふまえて多くのことがありましたが、大田区は真の平和を願い、内



北京市朝陽人民代表大会常務委員会  
朱家麒主任と河津団長

外にその考えを訴えそして行動をとってきました。我々がこの度日本を発つ 1 週間ほど前には、北朝鮮の核実験が行なわれ平和を脅かす行為に世界中の非難を浴びる事件がありましたが、日本は戦後 60 年を迎えましてからこの間、今まで防御であれ、攻撃であれ武器等の引き金を外国に向かって一切引いたことはありません。これからも、未来にもお互い日中平和の礎を築いていきたいと思ひます。また今回は女性議員の参加がありませんでしたが、孔さんと朱さんお 2 人にお出迎えいただいたなかで、次回は是非大田区からも女性議

員の参加のうえ、交流ができますことをお約束したいと考えます。よろしく御願いたします。」と挨拶がなされました。

朱主席からは、歓迎の挨拶をいただき、その中で朝陽区についての説明がありました。

まず「朝陽区は北京の東側にありその面積は476平方キロメートルで、現在オリンピックの開催用地の大半が含まれております。また多くのオフィスビルの用地や、各国大使館の用地がこの朝陽区にあります。そして、空港が朝陽区にあるので、皆さんは大田区から直接、朝陽区にいられたようなものです。大使館があり、高層ビルや企業が集まっている一方で、古い昔ながらの庶民の暮らしも残っていますので、たくさん視察をしてもらい、参考となる意見も是非聞かせて下さい。

そして、今回の訪中でますます隣国としての理解が、相互にもたらされると確信しております。」と熱烈歓迎のご挨拶でした。その後、早速双方による記念品の交換がありまして、盛り上がったのち歓迎昼食会に招かれ、意見交換の場と移行しました。

訪問団：昨日、都市計画局に伺い、まちづくりについて尋ねましたら、予定の70%の進捗があり、来年には計画の完了が予定されているとお聞きして驚きました。

5年前訪問したときに比べ、まちの様子がたいへん変わったことと交通マナーが良くなったことに驚きました。オリンピックを迎えるにあたり、朝陽区全体が活気を帯びているようで、一年後を見るのが楽しみです。ところで2016年開催の予定地に東京が立候補していますので応援よろしくお願いします。

朱主席：ご期待ありがとうございます。オリンピック立候補は頑張ってください。ご成功をお祈りいたします。

訪問団：女性議員の数は何割くらいですか。

孔副主任：30%程度が女性です。

訪問団：女性議員は要職についておりますか。

孔副主任：要職もいますし、労働者もいます。先生もいます。また組織に勤めている女性は大勢います。また、朝陽区の女性幹部の数も30%位です。

訪問団：朝陽区には、何人の議員がいらっしゃいますか。

朱主任：区全体で412人の議員がいます。区の下には号がありここには900人の議員がいます。ちなみに、朝陽区の人口は270万人です。11月に選挙が行われる予定です。

団長：頑張ってください。

訪問団：今日はそのような忙しい時に私たちにお付き合いしていただき感謝いたします。

訪問団：失礼ですが選挙運動はされますか。

朱主任：コミュニティの中のメンバーだけで人集めをして、自分の意見、主張を聞いてもらい、自分を推薦してくれるよう運動しています。

10人の推薦があると出馬できて、前は8,000人の立候補があり416人が選ばれました。合格ラインは5,000票です。また、議員の兼職が認められていて、弁護士等いろいろな職業をもっている人が多くいます。政党につきましては、共産党は65%で他に7政党があります。

団長：私たちも来年の春、選挙がありますが、頑張って当選を果たし再度親善訪問に伺いたいと思います。

出席者全員で再会を誓い、和やかなうちに昼食会を共にした時間も瞬く間に過ぎ去り、朝陽区人民代表大会常務委員会及び職員の見送りをいただき会場を後にしました。

団員一同、大変有意義な親善訪問であったことに、満足しました。



## オリンピックを中心にしたまちづくりについて

団員 田 中 健

北京オリンピック（ペキンオリンピック Games of the XXIX Olympiad、BEIJING 2008 Olympic Games、北京 2008）は 2008 年の 8 月 8 日から 8 月 24 日までの期間、中華人民共和国の首都北京を主な会場として開催することが予定されている第 29 回夏オリンピックである。

アジア大陸でオリンピックが開催されるのは、1988 年の韓国・ソウル大会以来 20 年ぶり（5 大会ぶり）4 回目。中国では初開催である。開会式は中国時間 2008 年 8 月 8 日 20 時 8 分 午後 8 時 8 分、日本時間午後 9 時 8 分に行われる予定である。（8 が並ぶのは中国では縁起の良い数とされているため。）

北京オリンピックは特色として、「東西文化の交流」、「緑の五輪」、「発展途上国初の五輪」、「節約型五輪」を全面に打ち出し招致に成功した。

2001 年 7 月 31 日、モスクワで開かれた I O C（国際オリンピック委員会）の第 112 次総会で、I O C 委員による第 2 回目の投票で五輪招致に決定した。サマランチ会長の「シティ・オブ・ベイジン（北京）」という声に、会場から大きな歓声が起こったのは記憶に新しい。人民日報は「13 億人が注目する眠れない夜」と見出しを出した。国民の多くがオリンピック北京開催の歴史的一瞬に注目していた。招致が決まると、中華世紀壇や天安門広場に多くの人が集り、江沢民国家主席（当時）が祝辞を述べた。北京オリンピックはその経済波及効果、国民的求心力、国際地位の向上、スポーツの強化の点で大きな意義を有する。W T O（世界貿易機構）加盟と並ぶ 2001 年の最大の成果であった。

北京市の開催計画によると、22 の新設会場を含む 37 会場を利用し、大会運営費は約 16 億ドル。北京にはその内 30 箇所、内訳は新築 15 箇所、改造 11 箇所、仮設 4 箇所であり、4 つの区域に分けて整備が進められている。オリンピック中央区：国家体育館、水泳センター、国家体育場など 10 箇所、 大学区：北京大学、北京科技大学、中国農業大学などの大学で体育館 4 箇所の新築、 西部区：5 本松文化体育中心をメインとして対区間 7 箇所の新築、 北区：北区の旅遊資源を使用して水上項目、競馬場などをつくる予定。

その中の オリンピック中央区を主に視察した。これは都市計画政策と結びついたオリンピック公園を北京北部に建設する予定だ。北京旧市街の中心線は、南の永定門から、北は時計台まで、長さ 7.8 キロメートル、紫禁城を中心にして南北方向に一直線に市内を貫く格好だ。中心線上の建築物は空間と線対称になっており、起伏する都市のアウトラインとなっている。北京の発展に伴い、この中心線は絶えず南北方向へ伸びつづけ、やがて北のはずれまで到達し、都市空間のクライマックス、オリンピック公園を形づくる。オリンピック公園の面積は約 1,215 ヘクタール、敷地内には 760 ヘクタールにわたる緑地があり、中華民族博物館（50 ヘクタール）、エクシビジョンホール（405 ヘクタール）、競技スタジアム、オリンピック選手村も整備される。オリンピック公園は 2008 年に開催される北京オリンピックの心臓部で、全体の 44% のオリンピック競技会場がここにある。また、オリンピック運営に関わる施設の大多数もここにある。



オリンピック公園外観

その中で私たち訪問団は「北京工人体育場」とメインスタジアムである「国家体育館」(愛称:「鳥の巣」)を見学した。

まず工人体育場は前回ワールドカップ予選で日本対中国戦が行われたスタジアムであり、現在改築真っ最中であった。オリンピック公園の北端に位置し、もっとも華やかな施設になるとの説明を伺った。



入場ゲート前にて団員と



競技場外観 競技種目:近代5種、サッカー

そして次に見学したのは、メインスタジアム、通称鳥の巣。9月17日仮設の支柱がすべて取り除かれ、外観の鉄骨部分が完成したばかりであったため全体像を見渡すことが出来た。総重量4万2千トン、今回取り除かれた足場の総重量は1万4千トン。計78箇所の設置ポイントが設けられ、ジャッキ156台が使われた。作業はCPUによるコントロール方式を採用、コンピューターで統一した命令で自動的に、かつ同時に撤去される方式で行われた。鞍型の外観を形作る鉄筋構造部分は、縦が297メートル、横は333メートル。高さは最高で68メートルにもなる。スタジアムは主にコンクリート構造と鉄筋構造からなり、コンクリート構造は鉄筋構造の中に覆われる形になっている。



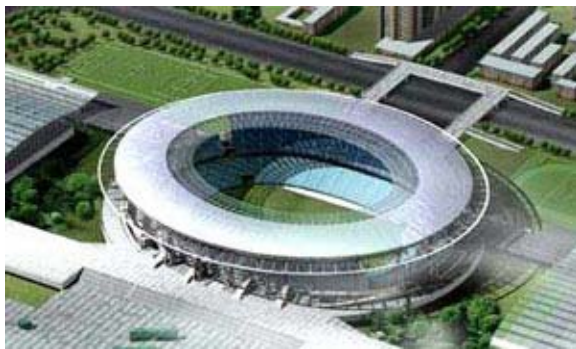
メインスタジアム 現在の外観

これはスイスのデザイナーが設計したとのことだが、最初に見た感想は何だこれは？というのが率直な感想である。デザインの美しいとも思えなかったし、節約型、緑の五輪を掲げているのに対して、その想いは伝わってこなかった。近代的モダンアートを目指したというなら分かるが、新しい時代の姿を現しているとは到底思えなかった。

当初メインの施設は 2006 年までにすべて竣工するとの計画であったが、まだまだその段階にいたっているとは思えない。急ピッチで開発を

進めているというのが視察を通して見えてきた現状である。

しかしオリンピックを契機に道路、ここには詳しく書けなかったが地下鉄（9月5日に熊貓環島駅が貫通しオリンピック線全線が貫通）等インフラが急速に整備され、おそらく来年にはガラッと変わった様相になっているに違いないと確信できた。東京オリンピックの際、首都高、新幹線すべての現在の主要交通を整備したのを模倣しているのだろう。2008年オリンピック開催時にはどんな姿に生まれ変わっているのかが今から大変楽しみである。その開発途中の姿を実際その場に赴き、肌で感じ見学が出来たことは大変貴重な経験であった。



完成パース 外観



完成パース 内観 総座席数 80,000 席  
試合種目：陸上競技

## 全国人民代表 潘 慶林氏事務所（釣魚台国賓館）訪問

副団長 山 崎 勝 広

北京訪問3日目の午前中、私どもは、釣魚台(ちょうぎょだい)国賓館に向かいました。

当初は、私の中国の知人の紹介で、日本の国会議員にあたる「全国人民代表」潘 慶林氏との懇談を彼の事務所のあるこの場所で予定していたのですが、あいにく潘氏の都合が悪くなってしまい、急遽、潘氏の秘書の方と私の知人とその友人の方々と懇談をしました。

共産党が指導する中華人民共和国。そもそも日本とは大前提となる政治システム、つまり内閣の仕組みだとか国会の仕組みといったものが違うわけですが、そのなかで一応、日本での国会・議会にあたるのが、「全国人民代表大会」です。形としては「国家機構」の最高権力機関ということになっています。欧米や日本の議会が2院制の制度であるのに対して、中国の「全国人民代表大会」は1院制です。

全国人民代表大会メンバー数は2,985人という膨大なもので、各省・直轄市・自治区の代表および、軍の代表という形になっています。全人民の代表ですから、少数民族や非共産党員も含まれています。とはいえ、約70%が共産党員ですので、人民代表大会での結論と共産党大会での結論が食い違うといった事態はないようです。

任期は5年で、新中国建国以来、10期の人民代表が選ばれています。代表大会は一年に一回春に、北京の人民大会堂で開催されます。10期目は2003年から2008年までです。

全国人民代表大会の仕事は、憲法を含む法律の制定、国家主席と国務院総理の選出、国家経済計画と予算の承認などです。国家主席というのは国の代表(元首)ということになっていますが、空席であった時代もあるなど、実際には何もすることのない名誉職的なポストのようです。

全国人民代表大会そのものには「議案」の提出権はありません。議案は共産党か国務院から出されます。現実的には、全国人民代表大会には、議案や予算の否決権もないのだからと思われる。

その為、かつては、共産党や国務院から提出された「議案」をそのまま満場一致で可決するだけの「ゴム印会議」などと冷やかされていたとの話も以前聞きました。

しかし近年では、自由化の影響もあって、一定の反対票が投じられるようになっているようです。とくに、人事案件では共産党内の路線の対立が投票行動にも現れるようになり、検察の汚職摘発に関する報告では、取り締まり強化を促す反対票が多くなっているようです。

さて懇談の後、私たちは、釣魚台の中を案内されました。

釣魚台(ちょうぎょだい)国賓館は、800年の歴史を誇る現役の外交舞台であり、最近では「六カ国協議」を開催するなど注目を集めております。天皇皇后両陛下、クリントン大統領や各国の首相、国賓等800名を超える国賓を迎えてきたゲストハウスでもあります。

43万㎡(東京ドームの約10倍)の広大な敷地に7万㎡の湖面を有し、18棟のホテル並の大きさを誇るゲストハウス(建築面積は17万㎡)が点在しています。また、数万本の森林や水で囲まれた広大な敷地内は、風光明媚で、建築物が多数散在し、各ゲストハウス内には国宝級の貴重な芸術品の数々が実際に使用、展示されています。



釣魚台国賓館にて

#### 主な釣魚台国賓館宿泊者

- 1972年10月 田中角栄 首相
- 1992年10月 明仁天皇・美智子皇后
- 1997年09月 橋本龍太郎 首相
- 1998年07月 クリントン 米国大統領
- 1999年07月 小淵恵三 首相
- 2000年07月 プーチン ロシア大統領
- 2006年01月 金正日 北朝鮮総書記

私たちの訪問した翌 21 日には、北京入りした米国のライス国務長官が、北京到着後、この釣魚台迎賓館で約 1 時間、李肇星外相と会談をしました。その後の共同記者会見で、北朝鮮の核実験を「重大な挑発で、国際平和への脅威」と強く非難したことは、日本でも多くの皆様をご存知のことと思います。まさにこの「釣魚台国賓館」を舞台に、世界中が注目する北朝鮮の核開発問題などをめぐっての協議が進んでいます。

#### 事前学習に基づく北京市の文化施設視察

団員 松原茂登樹

##### 八達嶺長城

世界文化遺産であります、万里の長城はいずれも北京中心部から車で片道 1 時間半～3 時間の距離に位置し、山間部にある。2005 年前に周が匈奴の侵入を防ぐため城壁を建造したのが始まりとされる。

長城は眺める高さによって、峻厳だったり、柔和だったり、表情豊かである。

紀元前 221 年、秦の始皇帝が、30 万の工兵と農奴数百万人を駆り立てて、北方の燕や趙の長城を連結するとともに、西方にも延長した。東の山海関から西の嘉峪関まで、総延長 6,350km にも及ぶ。

6 世紀に創建された八達嶺は帝都を守る北の関所となり、八達という名は「四通八達」から取られ、交通の要所を意味している。北京市北部約 70km の延慶県にあり、手軽に長城見学ができる最もポピュラーな箇所で、なだらかな尾根と小規模な峡谷が連綿と続く入り口に位置する。この付近は、最高でも海拔 1,015 メートル程度に過ぎないにもかかわらず、広大な河北平野に位置する北京からは指呼の間にあり、王城北方の後背地の一環として、

古代の覇権者が軍事的に重要視せざるを得なかった。

われわれは、北京市内の重量オーバートラック等日常の大渋滞に巻き込まれて、約1時間半をかけて、この八達嶺へと着いた。

地元の人たちは長城のことを「へび」と言っていたが、まさしく山の尾根をくねくねと続くその景観は、「へび」というたとえがぴったりであった。



世界遺産の万里の長城 八達嶺

長城歩きは、適度な山登り達成感とその景色を更に美しくさせる。急坂となると傾斜45°からなるので、足を滑らせないように歩くのが大変であった。もし、雨や雪でも降っていようものなら、それこそ大変なことだと思った。

自らの足で歩くが、高さの揃っていない階段や急坂が、変に足に力がかかることとなり、翌日は筋肉痛になった。しかし、その景色というと、一体どこまで続くのだろうといった延々と続く長城、広大な平野や山々、遠い山の向こうまで長城が続いているのが見えるため、城壁で

あることをつい忘れてしまうようである。

城壁はただ単純に作られたのではなく、そこには工夫がなされていた。攻めて来る側の壁は、高さが高く作られていて見通しが悪くなっていた。守る方の側は高位置であるし、壁は低く作られているので見晴らしがとてもよく、攻めて来る様子を伺い知ることができる構造になっていた。

しかし、これが6,350kmもの距離をひとつひとつのレンガで築かれたのだから、考えただけでも気が遠くなるくらい、ただただすごいなと感動するばかりであった。

## 北京市視察 胡同廻り

団員 海老澤 信 吉

広々とした50mはあると思われる道路が東西南北に走る北京市内。日本ではほとんど見ることができない、トロリーバスや大型の接続バスが走り回っている。大きな市街地の中に立っていても碁盤の目のような道路なので、方向は良くわかる。天安門広場、故宮博物館の裏手(北)の胡同を視察した。

胡同とは、北京特有の古い昔ながらの、レンガ作りの古い建物と細い路地で、市内には何千筋もの胡同が張り巡らされ、紫禁城の周りを取りかこんでいるもの。その建物のほとんどが「四合院」と呼ばれる建築様式をとっている。これは、中央に庭を囲んで、東西南北の四方に、四棟の家屋を対称的に配置した閉鎖的な構造の屋敷で、住人の社会的地位の高低によって大小の差がある。

人力の三輪自転車に乗り、700年も前から続くこの路地を静かに走りながら視察した。

近代的な高層ビルが立ち並ぶ市内に、平屋建てのレンガ造りの建物が2~3m幅の道路を挟んで息苦しいほどに立ち並び、ここが、北京市とは想像しにくいまったく別世界に入

り込んだように思える。それぞれの家の門には、狛犬が左右に置いてあり、その大きさなどでその家の階級や位がわかる。

ここで生活をしている一軒を訪問し、内部の見学をさせていただいた。門を入ると、結構広い中庭があり、柿などの樹木や大きな瓶には水を貯めて鯉を飼っている。寒い冬のために、暖房用の練炭が山積みにして準備をしていた。家の増改築は5mまでで許可が必要。普通の生活をするには不自由はなさそうです。

細い路地のため、この地域専用の消防車が2台置いてあり、小さいながらも消防署があり、職員も常駐している。

しかし、ここ数十年の改革は、この地域にも大きな変化をもたらし、多くの胡同がブルドーザーに押しつぶされ、その跡地には近代的な高層ビルが次々に建設されている。そこに暮らしていた住民も新築のマンションに移っていき、付近や社会の急激な変化に取り残された感じがする。文化遺産としてどの程度残されるのか心配であり、オリンピックを境にほとんどなくなってしまうのではないかと思う。

次に國子監大学を訪問した。大学の大的字が「太」を使用し普通の大学というより大学院のようなものらしい。施設で修復の工事の真っ最中だった。

ここは1919年にオープンしたもので、建物は約700年前に建築されたもので、ほとんど当時のまを維持しているとのこと。しかしながら、これらの維持管理するための費用のうち、国から出るのは60%ほどであり苦慮をしているとのことでした。そのために所有している美術工芸品を一般に売り出して、維持しているとのことでした。



胡同にある民家を訪問

## 日本から進出した企業【荏原機械（中国）有限公司】の視察と北京諸事情

団員 黒 沼 良 光

北京市中心から車で約1時間半、郊外を見るのは初めてです。さて、郊外に出て高層ビルは消え、畑と昔ながらの住宅などその広さに驚きました。郊外の一 corner の工業団地内に視察先の荏原機械(有)工場がありました。荏原機械(有)は大田区に本社のある(株)荏原の100%出資の会社です。視察後さらに市内に戻りJALビル内の本사를視察しました。



工場内にて説明を受ける

まず、ポンプ組み立てと鑄造の二つの工場の視察です。両工場で170名の社員のうち日本人は5名のみですが日常生活はめぐまれた環境で違和感無く生活できているとのことでした。作業をマニュアル化することで現地人雇用のハンデが出ないようにしているとのことでした。

現地生産の50%は日本へ、25%は中国内日本客へ、残りの25%は中国市場だが、高品質、高技術を売り物に少量、多品種で技術的に安定しています。中国ではやられていないメンテナンスとセットで今後、

販路を広げたいとのことでした。さすが目の付け所が違うと感じました。鋳物工場ではキューボラ方式だが現地職員が辞めないで永く働いてくれるので技術的にも蓄積されています。材料は現地調達しているがオリンピック景気の中で材料が入りにくくなっています。

大連、天津、上海が主流だが北京でも勝負できるようになってきたようです。どこの企業も本社を北京に開くようになってきて工業部門でも重要になっているからです。

本社での視察には大田区荏原製作所から派遣されている副社長さんから説明を受けました。

今、中国は3ヶ月単位で激しく変化しているとのことでした。例えばつい最近、卸売り制度ができたそうで、現地製品だけではなく幅が広がりました。こういう情報を逃すと遅れてしまいます。

100%日本企業出資だが日本の理念だけでは通用しません。会社と営業を発展させるには中国人と日本人の理解、尊重、交流、合作を重視しています。それはトラブルの解決もスムーズにさせているようです。荏原機械(有)は合弁でなく人材のつながりを選びました。まず中国人に社長になってもらい、その人の考えていたことを思い切って経営理念にしました。さらに幹部のほとんどは中国人です。



荏原機械(中国)有限公司の正門前にて

経営理念として“企業成功の果実を分け合う”ことで人は金より高いという考え。さらにチームワークだけでなく個性を尊重している。つまり平均点というのは中国では無く“何のために働くのか”を認めることが大切。

中国での人力資源で中国の力を活用する方針とのことでした。これはまさにその通りだと思いました。いずれにしても中国の社会主義的自由市場経済の巨大な発展に目の当たりに触れ、その発展の中に日本の企業が立ち向かってゆく事例に出会いました。

ますますの両国の友好と親善のためには何よりも平和であるとともに訪問企業の経営理念に基づく発展を願ってやみません。大変有意義でした。

最後に初めての中国訪問の感想です。中国は今なお共産党以外の議員はほんの少しという認識でしたが、3分の1が共産党ではなく8会派もあり少数会派に委員会委員長ポストが確保されていると聞いて民主主義が進んでいるという変化を感じました。

また、国家主席が大統領と同等の役割で遺憾なく外交での力を発揮するとともに前国家主席は辞めて後、質素な暮らしをしているとの通訳の話に旧ソ連とは違うと感心しました。

国務院は日本の内閣で、国務院から法律案が提案され共産党の言いなりではなくすべては全国人民代表大会という立法府で決まります。民主主義の発展も感じました。



## セーラム市親善訪問団報告書

はじめに

団長 松原秀典

セーラム市親善訪問団 8 名は、10 月 26 日～11 月 2 日の日程でセーラム市を親善訪問致しました。今年は、ピーボディー・エセックス博物館と大田区立郷土博物館との姉妹提携 22 年にあたり、大田区とセーラム市が姉妹都市になってから 15 年にあたります。

成田を発ち、ワシントンを経由してセーラム市に到着しました。セーラム市は、折しもハロウィンの時期にあたり、市内は屋台が立ち並び、仮装した人達が行き交い、普段は落ち着いた街も活気づいていました。すっかり装いも新たになった博物館内を学芸員のジェラードさんに案内してもらい、移設したばかりの中国の古い民家や、日本の 16 世紀から 17 世紀にかけてのヨーロッパ向け輸出用の美術工芸品などを見学しました。その後セーラム市庁舎を訪ね、ドリスコール市長を表敬訪問し、歓談致しました。お昼には、近くのレストランにてランチ招待を受け、市長やリングダ学芸員長をはじめとして、学芸員の方々と懇親会をもち、有意義なひとときを過ごすことができました。市長は、機会があれば大田区に行ってみたいとおっしゃっていました。夕刻には、長年両市の友好親善でお世話になっているピーターご夫妻と夕食会を開き、懇談致しました。

ボストン市では、ボストン美術館を視察致しました。ニューヨーク市では、強風の中、まずグラウンドゼロを視察しました。次に、再開発地域のソーホー地区やダンボ地区、そしてサウスストリートシーポートピア 17 などを視察しました。翌日には、自治体国際化協会のニューヨーク事務所において、平井伸治所長(元鳥取県副知事)よりソーホー地区などを含めたニューヨーク市全般の再開発の背景や実態に関して詳細なレクチャーを拝聴し、質疑応答もはずみ、大変参考になりました。

サンフランシスコ市では、貨物用の栈橋を再開発したサンフランシスコ開発プロジェクト「ピア 39」を視察致しました。

各視察先につきましては、団員からの報告にゆだねますが、訪問先で伝え聞いた話の中で、複数の方から「アメリカの中国への関心が高まるにつれて、日本への関心が沈下している、在米の中国人や韓国人が増加しているのに対して、日本人は減少している。日系の上院下院議員の数も減っており、アメリカ社会において日本人の発言力が弱まりつつある。」という指摘を受けましたが、耳を傾ける必要があると感じました。

なお、今回はご都合によりお会いできませんでしたが、市長と博物館の日程を調整してくださったセイヤー桂子さんと岡みどりさんに心から御礼申し上げます。

## 大田区議会セーラム市親善訪問団・行政視察概要

訪問期間 平成 18 年 10 月 26 日（木）～ 11 月 2 日（木） 8 日間

訪問都市 姉妹都市 アメリカ合衆国マサチューセッツ州セーラム市  
 視察都市 アメリカ合衆国マサチューセッツ州ボストン市  
 アメリカ合衆国ニューヨーク州ニューヨーク市  
 アメリカ合衆国カリフォルニア州サンフランシスコ市

訪問団員 団 長 松原 秀典 副団長 高瀬 三徳 会 計 安藤 充  
 会計補佐 岸田 哲治 記 録 伊藤 和弘 団 員 永井 敬臣  
 団 員 小原 直美 記 録 鈴木 章浩

### 行程

	月 日	都市名	スケジュール
1	10 月 26 日(木)	東京(成田) 発 ニューヨーク着 ～セーラム	全日空 002 便(エコノミークラス)
2	27 日(金)	セーラム	親善訪問 博物館長表敬訪問・博物館見学 セーラム市長表敬訪問 博物館長によるランチ招待
3	28 日(土)	ボストン	ボストン美術館視察
4	29 日(日)	ニューヨーク	グラウンド・ゼロ視察、再開発地域サウスストリートシーポートピア 17 視察
5	30 日(月)	ニューヨーク	自治体国際化協会ニューヨーク事務所訪問(倉庫街の再開発・整備についてレクチャー受講)
6	31 日(火)	サンフランシスコ	サンフランシスコ開発プロジェクト「ピア 39」視察、路面電車体験乗車
7	11 月 1 日(水)	サンフランシスコ 発	全日空 007 便(エコノミークラス)
8	2 日(木)	東京(成田) 着	

### 経費等(1) 旅費

内 訳 (1人当たり)	航空賃等交通費	350,480 円	航空賃、鉄道賃、車(バス)賃
	宿 泊 料	145,800 円	宿泊料金、食事料金(朝・夕)等
	そ の 他 経 費	82,160 円	専門通訳料、昼食費、空港税、空港施設使用料、準備に係わる諸経費等

### (2) 宿泊ホテル

セーラム(2泊): ピーボディマリオットホテル

ニューヨーク(2泊): ウェリントンホテル

サンフランシスコ(2泊): ルネッサンスパーク 55 ホテル

## セーラム市表敬訪問

会計補佐 岸田 哲治

セーラム市は、マサチューセッツ州エセックス郡に位置し、北緯 43 度 31 分、日本では北海道小樽市が北緯 43 度 11 分なので同じくらいの緯度に位置しています。10 月 27 日金曜日、天気は晴天でしたが、朝は寒く、また日中も 10 ぐらいしか気温が上がらず寒い一日でした。

朝 8 時半にセーラム市の隣町ピーボディーのホテルを車で出発、約 15 分でセーラムのピーボディー・エセックス博物館に着き、開館時間は 9 時でしたが、開館前より見学をさせていただきました。

ピーボディー・エセックス博物館は、セーラムを根拠地としていた貿易商たちが持ち帰った美術品や生活用品を収蔵し、特に日本、韓国、中国などアジアのコレクションが充実しています。2003 年に別館を新設し、展示スペースは以前の 2 倍以上、23,000 平方メートルになり、19 世紀の中国安徽省にあった家屋が元の場所から、在ったままの状態に移築されていました。また、セーラムが海沿いに位置し、古くから貿易港として栄えたため、船に関する美術品は世界一の収蔵で、東洋美術と船に関する所蔵品との 2 つの大きな柱を基に展示されていて、とても一日では全館を見て回れません。

ボランティアの方が開館前より私たちを待ち受け、英語でゆっくりと、丁寧に館内の案内を解説していただきました。さらに日本語の話せる日本部学芸員助手のジェラルドさんが詳しく説明してくださり、予定の時間が瞬く間に過ぎてしまいました。

午前 11 時半より市長を表敬訪問するため、ピーボディー・エセックス博物館より 5 分ぐらい歩いて、1837 年に建てられた歴史的な市庁舎に着きました。

ドリスコール市長は昨年 11 月の選挙で初当選し、本年 1 月より就任されている女性で、四十代半ばの美しい方でした。

セーラムはボストンの衛星都市であること、大航海時代の波止場が歴史地区として保存されていること、魔女狩りで有名な魔女博物館、ピーボディー・エセックス博物館などを擁し、米国東海岸有数の観光都市であり、人口約 4 万人の都市であることなどをお聞きしました。また、最後には選挙についての話しになり、投票率が 50 パーセントに届かないこと、特に若者の投票率が低いことなど共通の悩みに話が盛り上がりました。



ドリスコール市長を表敬訪問

この後、市庁舎より歩いて約 15 分の港のレストランでドリスコール市長、博物館幹部で学芸員長のリンダさん、江戸博物館展担当者で海洋部門学芸員のダンさん、中国部門学芸員ナンシーさん、そして日本語が堪能な日本部門学芸員助手のジェラルドさんと会食を行いました。市長は午後の予定が入っているため 30 分程で退席されましたが、終了時間の 1 時 30 分の予定を 1 時間以上も多く費やし、午後 3 時過ぎまで共に過ごしました。

11 月 1 日がキリスト教の諸聖人の日「万聖節」で前夜(10 月 31 日)に行われる祭りがハロウィンです。その由来は古代ケルト人の秋の収穫感謝祭に起源があるといわれ、古代ケ

ルト民族では、一年の終わりが 10 月 31 日と定められていました。

この夜には死者の霊が親族を訪ねたり、悪霊が降りて作物を荒らしたりすると信じられ、そこから秋の収穫を祝い、悪霊を追い出す祭りが行われるようになり、キリスト教に取り入れられて、現在のハロウィンの行事となりました。ハロウィンで、仮装した子供たちが、「Trick or treat!(お菓子をくれないといたずらするぞ)」と言って、近所の家からお菓子をもらう由来は、農民が祭り用の食料をもらって歩いたさまを真似たものと言われていま

す。  
普段のセーラム市は落ち着いた静かな街なのですが、魔女の街と言うことでもあり、ハロウィンの日はアメリカで一番注目される街になります。私たちが訪問した 10 月 27 日金曜日は週末でセーラムの街は仮装した子ども達や、仮装した大人も一緒になって一週間も前からハロウィンを楽しんでいました。

夜 6 時にピーター夫妻との会食のためホテルを出ましたが、セーラム市に向う道は、ハロウィンを楽しむための車の渋滞で少しも前に進むことができません。

私たちはセーラムへ行くのを諦めて、近くで会話を楽しみながら食事をしましたが、アメリカの人々が人生を如何に楽しむことに重きを置いているのか、感じ取ることができました。

このように大変忙しい時期に私達区議会セーラム市親善訪問団を受け入れていただいたセーラム市長、市関係者、博物館関係者の皆さんに大変感謝申し上げます。

## ボストン美術館

団 員 鈴 木 章 浩

ボストン美術館(Museum of Fine Arts,Boston)は、アメリカ合衆国マサチューセッツ州ボストン市にある、世界有数の規模をもつ美術館である。

館名の英語表記は'Museum of Fine Arts, Boston'であり、'Boston Museum of Fine Arts'ではないことに注意したい。つまり、「ボストン美術館」というよりは「ボストンの美術館」という語感に近い。

ボストン美術館は 1870 年地元の有志によって設立され、アメリカ独立百周年にあたる 1876 年に開館した。王室コレクションや大富豪のコレクションが元になった美術館と異なり、ゼロからスタートし、民間の組織として運営されてきたという点は、ニューヨークのメトロポリタン美術館と類似している。所蔵品は 50 万点を数え、「古代」、「ヨーロッパ」、「アジア、オセアニア、アフリカ」、「アメリカ」、「現代」、「版画、素描、写真」、「染織、衣装」および「楽器」の 8 部門に分かれる。エジプト美術、フランス印象派絵画などが特に充実している。

仏画、絵巻物、浮世絵、刀剣など日本美術の優品を多数所蔵し、日本との関係が深いことでも知られる。20 世紀の初めには、岡倉天心が在職しており、敷地内には彼の名を冠した小さな日本庭園「天心園」が設けられている。

隣接するスクール(the School of the Museum of Fine Arts, 通称 the museum school)は美術館と同年の開設。現在ではタフツ大学と連携して学位プログラムを提供している。

また、日本国内の美術館とのつながりも大変に深く、名古屋ボストン美術館(名古屋市

中区金山)は、平成 11 年(1999)にオープンした、ボストン美術館の正式な姉妹館である。姉妹館契約は 20 年間となっており、契約満了前に更新するかどうかを検討することになっている。名古屋ボストン美術館自体の所蔵品はなく、特定のテーマに添った美術品をボストン美術館から借り受けて展覧会を実施している。10 年間で 37 億円と高額な美術品賃貸契約が響き、慢性的な赤字から 2009 年度での閉館も検討されたが、契約料金の 20 億円割引や地元政財界による 55 億円規模の財政支援を受けて 2006 年 3 月 30 日、閉館から一転して存続することが決まった。

ボストンは貿易港としてアジア諸国との関係が深かったこともあり、ボストン美術館では早くから中国、日本、インドなどアジア地域の美術の収集に力を入れていた。中でも日本美術のコレクションは、日本国外にあるものとしては質・量ともにもっとも優れたものとして知られている。

大田区と関係の深いエドワード・シルヴェスター・モース(1838~1925)は、ボストン郊外のマサチューセッツ州セーラムに住んでいた動物学者であった。モースは日本では大森貝塚の発見者および縄文式土器の名付け親として知られているが、彼の来日目的は考古学の研究ではなく、日本近海に住む腕足類という原始的な海生生物の採集のためであった。1877 年、船で横浜に着いた彼は、横浜から東京へ向かう列車の窓から偶然、大森貝塚を発見した。モースは後に貝塚の発掘調査を行い、創立まもない東京帝国大学から発掘報告書を刊行しているが、これが日本考古学史上最初の学術的発掘調査とされている。当初 3 か月の滞在予定で来日したモースは東京大学の教師となり、前後 3 回の来日で通算 2 年半滞在することになった。この間、モースは日本の陶磁器や各種民俗資料の収集に励んだ。彼が日本の陶器を集めるきっかけとなったのは、ある店で自分の研究対象である貝の形をした陶器を見付け、購入したことだったという。知人から、その貝形の陶器は骨董品でも何でもない安物だと聞かされたモースは、一念発起して陶磁器の勉強を始め、日本人をしのご目利きになったという。

アメリカに帰国後の 1892 年、彼は収集した日本陶磁器約 5 千点をボストン美術館へ譲渡した。これらの陶磁器は、科学者の収集らしく、産地や作風別に系統的に分類され、モース自身がすべての作品についての解説を書いたカタログを著している(陶磁器以外の民俗資料などの収集品はセーラムのピーボディ・エセックス博物館にある)。モースはアメリカへ帰国後、日本のすばらしさを友人たちに熱心に語り、しきりに日本行きを勧めた。後述するフェノロサとビゲローの来日もモースが仲立ちしたものであった。

アーネスト・フェノロサ(1853~1908)は、日本の近代美術史を語る上で忘れてはならない研究者・コレクターである。フェノロサは、モースと同じセーラムに住む知り合い同士であった。東京帝国大学が政治学の教授を捜していることを知ったモースはフェノロサをその職に推薦した。フェノロサは 1878 年に来日。アメリカで絵を学んだこともあった彼は日本絵画に魅せられ、政治学や哲学の講義のかたわら、日本美術の研究と収集に没頭するようになった。

彼は特に狩野派の絵を高く評価し、東京で生まれた自分の息子にアーネスト・カノーと名付けるほど狩野派に心酔する一方で、南画(文人画)はだめな絵であるとして徹底的に攻撃した。ついには狩野派の画家に入門し、「狩野永探」という画号まで得ている。明治維新後まもない当時の日本では伝統美術は衰微し、軽んじられていたが、フェノロサは著述、講演などを通じて日本美術の優秀性を人々に説いた。また、文部省の委嘱を受けて近畿地方を中心とした社寺の宝物調査を行った。教え子で当時の文部官僚であった岡倉天心とともに法隆寺の秘仏・夢殿観音(救世観音)を調査したことはよく知られている。フェノロサ

はアメリカへ帰国後、ボストン美術館日本部(のち「東洋部」となる)の初代部長となった。また、日本で収集した「平治物語絵巻」、尾形光琳筆「松島図屏風」などの膨大な美術コレクションを館に寄託した。これらはフェノロサの死後の1911年に正式に館に寄贈された。フェノロサのコレクションを一括して買い取ってボストン美術館へ遺贈したのは、資産家のチャールズ・ゴダード・ウェルド(1857～1911)という人物で、コレクションはウェルドの名を付して「フェノロサ=ウェルド・コレクション」と呼ばれている。

医師であったウィリアム・スタージス・ビゲロー(1850～1926)もモースの知り合いで、1882年、モースの3度目の来日に同行して来日した。短期の観光旅行のつもりで来日したビゲローは日本の文化や伝統をこよなく愛し、短期の一時帰国を除けばその後7年も日本に滞在することとなった。和服や日本食を好み、天台宗の三井寺(園城寺)に入門して修行し、「月心」という法名を得ている。また、彼は当時の日本の画家や美術研究者に援助を差し伸べ、岡倉天心の日本美術院創設に際して2万円を寄付するなど、日本の美術界の発展に貢献した。また、奈良時代絵画の貴重な遺品である「法華堂根本曼荼羅」を筆頭に多くの日本の美術品を収集した。1万数千点にのぼる彼のコレクションは、1911年ボストン美術館へ寄贈された。

フェノロサのコレクションが絵画中心であるのに対し、ビゲローのコレクションは幅が広く、金工、漆工、染織、刀剣甲冑なども含まれている。ビゲローの遺骨は遺言により日本にも分骨され、三井寺の法明院にはフェノロサの墓と並んでビゲローの墓が建てられている。

岡倉天心(1862～1913)は、東京美術学校(後の東京芸術大学)創設に尽力し、日本美術院を創設して日本画を興すなど、近代日本の美術史研究、美術教育、伝統美術の復興、文化財保護などに多大な貢献をした人物で、英文の著作を通じて日本文化を外国へ紹介することにも尽力した。彼は1904年にボストン美術館へ入り、1910年には東洋部長となった。ボストン美術館には快慶作・弥勒菩薩立像など、天心のコレクションも入っている。

富田幸次郎(1890～1976)は天心の弟子で、10代の時から半世紀以上ボストン美術館に在職し、1931年から1962年までは東洋部長の地位にあって、日米の文化交流に貢献した。日本の絵巻物の代表作である「吉備大臣入唐絵巻」は、1932年、富田を介してボストン美術館に入った。当時の世相下で、富田は日本の貴重な美術品をアメリカに売った「国賊」とののしられた。実はこの絵巻はボストン美術館に入る数年前から日本国内で売りに出していたものだったが、不況下の日本で買い手がつかないため、ボストン美術館が購入したというのが真相だった。

ボストン美術館の視察を通し、日本の芸術がこれ程造詣深く、大切に扱われている美術館は他に類を見ないであろうと思う中で、今後とも散逸することなく多くの国の方々の日本芸術の理解に寄与する施設として発展することを祈念するものである。

## ニューヨーク、グラウンド・ゼロ

団員 安藤 充

アメリカ最大で世界的に重要な都市の一つでもある。人口は810万人で人口密度は北米で最高である。世界の経済、金融、流行、医学、娯楽、メディア及び文化の中心で多数の博物館、美術館、劇場、メディアの支部、多国籍企業及び国際金融市場の集積があり、国連の本部が置かれ、世界的に有名な摩天楼が数多く存在する。

「ビック・アップル」、「決して眠らない街」、「世界の首都」の異名で知られ、何百の言語と文化が折り重なり、多くの移民を引き付けている。人口の約3分の1が外国人で、アメリカ合衆国内からもそれを持つ文化、多様性、生活、世界観、ビジネスチャンスを求め多くの人が集まってくる。



ニューヨーク再開発地域「サウスストリートシーポートピア17」

グラウンド・ゼロとは爆心地のこと。2001年9月11日にニューヨークの同時多発テロでは、ワールド・トレード・センターのツイン・タワーを2機の旅客機が直撃し、短時間で崩壊させました。300m四方のワールド・トレード・センター跡地はまるで小型核爆弾の攻撃を受けたように跡形もなく、瓦礫の山となった。

あの日たまたまテレビを見ていて、ほこりまみれの人や怪我をした多くの人々が現場から逃れたり、消防車が走りまわっていたシーンがまるで映画のように思えたことを、グラウンド・ゼロを見学して思い起こしました。

今ワールド・トレード・センター跡地は再建のため基礎工事が行われていて、周囲は高い金網で囲まれ、その大きさに驚かされます。跡地の一角には案内コーナーがありニューヨーク市の職員がブースに詰めてパンフレットを配っていました。周囲は星条旗がはためいて、9.11に対する決意を語っていました。

大きな被害を受けた周辺のビルは、ほぼ修理が終ってはいませんが、今もまだいくつかのビルは工事中で被害の大きさが伺えます。



ワールド・トレード・センター跡地

## (財)自治体国際化協会ニューヨーク事務所

団員 伊藤和弘

(財)自治体国際化協会ニューヨーク事務所では平井所長より直接説明を受けることができました。かつての再開発成功例のソーホー地区では家賃の高騰から他の地区への人口の移動があり、空き部屋が増えているようです。今、行政の介入した再開発としては、マンハッタン橋のふもとのダンボ地区で進んでいるということです。

民間の事業者が主導してインフラの整備や Digital NYC に参加してIT化を進めたりして付加価値を高め、地域の価値を高めていくというプロジェクトを現地で視察しました。

ここは民間の事業者が地域を買い取り、自分たちで再開発をしている地域ということでした。ニューヨーク市内からも交通の便がよく、活性化する可能性の高い地域と期待されています。もともと低利用の地域を安く買い取り、付加価値をつけて人の集まる地域に作り変えていくというやり方で再開発をしているようです。ただ、開発が進むと人気が出て地価が上がり、人が離れていくという次の問題も起きているということです。



平井所長を囲んで



自治体国際化協会ニューヨーク事務所  
で平井所長から説明を受ける



## サンフランシスコ開発プロジェクト「ピア 39」

団員 伊藤和弘



ピア 39 を眺めながら説明を受ける

フィッシャーマンズワーフの並びにあり、ほとんど利用されることのない桟橋を民間の事業者が市から借り、開発を行った例を運営会社の会長と副社長から説明を受けました。

66 年間の賃貸契約を市と結んでフルサービスのレストランや土産物などの物販店、それに駐車場なども整備することで年間 1,050 万人もの観光客が訪れるようになったようです。

レストランばかりを作らずに物販店の割合を高くしておいたことが、成功の基だということでした。また、役所ではなく民間の事業者だからこそ、ここまで盛り上げることが出来たということでした。市は許可をただけで多くの税金が入ってきている。偶然住み着いたシーライオン(あざらし)も今ではすっかりマスコットになっています。

らこそ、ここまで盛り上げることが出来たということでした。市は許可をただけで多くの税金が入ってきている。偶然住み着いたシーライオン(あざらし)も今ではすっかりマスコットになっています。



ピア 39

## サンフランシスコの路面電車 体験乗車

団員 伊藤和弘



サンフランシスコの路面電車

サンフランシスコの公共交通は、路面電車・ケーブルカー・トロリーバス・連結バス・地下鉄と多くの種類があります。それぞれが特徴を持って運行されています。市内中心部からフィッシャーマンズワーフなどの観光地へ行くには、海沿いを走りピア3からピア5、ピア7といくつもの栈橋を巡る路面電車の路線は古い車両で運行されていて、運賃も1.5ドルと安いので地元の人に多く利用されています。また、ケーブルカーは急な坂を登り、丘を越えて海へ向かいます。頂上から下り、坂越しに海を見下ろす景色はカリフォルニアを代表するすばらしいものです。

色はカリフォルニアを代表するすばらしいものです。

地中を通したケーブルをまわしてそのケーブルを車両の中の運転装置(といってもただの長いレバーのようなもの)でつかんだり離したりして走るという非常にユニークな駆動形態を使っています。また、運転スペースがひとつしかないために始発点と終点では人力で車両を回転させるという場面があり、これも観光客の目を楽しませてくれています。1回5ドルと割高ですが、主に観光客の人たちで混んでいます。

もともと急な坂だらけという、町にとってはマイナスの要素をケーブルカーという、町の名物を作ることで見事にプラスに変えた例として、とても勉強になりました。ほかにもトロリーバスは路面電車の架線を共有して走っていますし、路線バスはほとんどが連結式で大量輸送が出来るようになっています。

しかし、問題点もいくつか感じました。例えば路面電車は車両が古いせいもあって、乗り降りの際の段差が大きく、高齢者や障害のある人にとっては決して利用し易いとは言えません。また、地下鉄のチケットもおつりが出ないなどもう少し改善の余地があるのではないかと感じました。

しかし、全体として観光客を十分に意識したまちづくりをしていることは感じました。

建物や公共の乗り物など、色や見た目の美しさを意識してデザインされていることで、町を歩くことが楽しく感じるのでしょう。

行政による規制ではなく、町の人たち自身によるルール作りが大切だということ、そしてそのことを役所が理解して一緒にまちづくりを進めていくことがとても大切だということ強く実感しました。



発着点で回転し運転席の方向  
を変えるケーブルカー

## セーラム市親善訪問を終えて

あとがき

副団長 高瀬 三徳

今回セーラム市親善訪問団としてセーラム市との親善はもちろん、その他米国の数都市を視察しました。

季節柄非常に寒い日ばかりでしたが、団員の皆さんは少しでも多くの成果を残せるように積極的に動き回っていました。相手先の都市で行政の方に説明をいただいたり、各自テーマを決めて視察をしていました。そして大田区との共通点、逆にその場所独自の政策などをいかに大田区政に生かすことができるかを考えていました。

普段の生活では気づかないことがあったり、とても無理だと思っていたことを実際に行っている都市があったりと、新しい発見がありました。そして、海外の姉妹都市や友好都市との親善や交流がいかに大きな意味があるかということに改めて実感いたしました。

最後に何よりも無事にすべての予定をこなすことができた団員の皆さんの協力と、訪問に際してお取り計らいいただいた関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

### 3 歴代議長・副議長・議員選出監査委員

#### (1) 歴代議長

代	氏名	在任期間								
初代	永久保新蔵	昭和	22年	5月	26日	～	昭和	23年	6月	25日
2代	太田己信	昭和	23年	6月	25日	～	昭和	24年	5月	30日
3代	太田己信	昭和	24年	5月	30日	～	昭和	25年	5月	30日
4代	松本鶴二	昭和	25年	5月	30日	～	昭和	26年	4月	29日
5代	落合鈷二	昭和	26年	5月	28日	～	昭和	27年	5月	29日
6代	松本鶴二	昭和	27年	5月	29日	～	昭和	28年	6月	2日
7代	橋爪儀八郎	昭和	28年	6月	2日	～	昭和	29年	6月	1日
8代	門倉傳造	昭和	29年	6月	1日	～	昭和	30年	4月	30日
9代	橋爪儀八郎	昭和	30年	5月	26日	～	昭和	31年	3月	14日
10代	小原義雄	昭和	31年	3月	14日	～	昭和	32年	4月	8日
11代	大山正行	昭和	32年	4月	8日	～	昭和	33年	3月	31日
12代	小田七蔵	昭和	33年	3月	31日	～	昭和	34年	4月	30日
13代	永久保新蔵	昭和	34年	6月	4日	～	昭和	35年	6月	8日
14代	竹内三郎	昭和	35年	6月	8日	～	昭和	36年	8月	1日
15代	鈴木諭吉	昭和	36年	8月	1日	～	昭和	37年	8月	1日
16代	中島縞吉	昭和	37年	8月	1日	～	昭和	38年	4月	30日
17代	野沢賢吉	昭和	38年	5月	28日	～	昭和	39年	6月	6日
18代	横溝儀市	昭和	39年	6月	6日	～	昭和	40年	5月	31日
19代	水戸邦夫	昭和	40年	5月	31日	～	昭和	41年	6月	1日
20代	坂本辰治郎	昭和	41年	6月	1日	～	昭和	42年	4月	30日
21代	竹内正作	昭和	42年	5月	26日	～	昭和	43年	6月	11日
22代	岡村新三郎	昭和	43年	6月	11日	～	昭和	44年	6月	12日
23代	田中善八郎	昭和	44年	6月	12日	～	昭和	45年	6月	12日
24代	狩野昌平	昭和	45年	6月	12日	～	昭和	46年	4月	30日
25代	平林義雄	昭和	46年	5月	21日	～	昭和	47年	6月	7日
26代	横溝恒次	昭和	47年	6月	7日	～	昭和	48年	6月	11日
27代	狩野昌平	昭和	48年	6月	11日	～	昭和	49年	6月	11日
28代	佐藤良平	昭和	49年	6月	11日	～	昭和	50年	4月	30日
29代	小宮岩雄	昭和	50年	5月	30日	～	昭和	51年	6月	10日
30代	渡辺謙信	昭和	51年	6月	10日	～	昭和	52年	6月	10日
31代	塚越順一	昭和	52年	6月	10日	～	昭和	53年	6月	13日
32代	直井建蔵	昭和	53年	6月	13日	～	昭和	54年	4月	30日
33代	吉田正晴	昭和	54年	5月	30日	～	昭和	55年	6月	13日
34代	佐藤大助	昭和	55年	6月	13日	～	昭和	56年	6月	15日
35代	湯本良雄	昭和	56年	6月	15日	～	昭和	57年	6月	17日
36代	吉田義雄	昭和	57年	6月	17日	～	昭和	57年	12月	24日
37代	坂本辰治郎	昭和	57年	12月	24日	～	昭和	58年	4月	30日
38代	平林淳宏	昭和	58年	5月	30日	～	昭和	60年	6月	14日
39代	諸星博一	昭和	60年	6月	14日	～	昭和	62年	4月	30日
40代	松原隆	昭和	62年	5月	29日	～	平成	元年	6月	15日
41代	宮田欣一	平成	元年	6月	15日	～	平成	2年	6月	15日
42代	梅沢喜代造	平成	2年	6月	15日	～	平成	3年	4月	30日
43代	永井敬臣	平成	3年	5月	30日	～	平成	5年	5月	31日
44代	張替曝雄	平成	5年	5月	31日	～	平成	7年	4月	30日
45代	神林茂	平成	7年	5月	29日	～	平成	8年	5月	29日
46代	藤田静男	平成	8年	5月	29日	～	平成	9年	5月	29日
47代	田中一吉	平成	9年	5月	29日	～	平成	11年	4月	30日
48代	永井敬臣	平成	11年	5月	17日	～	平成	12年	5月	29日
49代	近藤忠夫	平成	12年	5月	29日	～	平成	13年	5月	25日
50代	河津章夫	平成	13年	5月	25日	～	平成	15年	4月	30日
51代	川原智由	平成	15年	5月	23日	～	平成	16年	5月	12日
52代	小原直美	平成	16年	5月	26日	～	平成	17年	5月	27日
53代	水井達興	平成	17年	5月	27日	～				

( 2 ) 歴代副議長

代	氏名	在任期間							
初代	吉松 貞弥	昭和 22 年	5 月	26 日	~	昭和 23 年	6 月	25 日	
2 代	田村 常義	昭和 23 年	6 月	25 日	~	昭和 24 年	5 月	30 日	
3 代	三川 東九郎	昭和 24 年	5 月	30 日	~	昭和 25 年	5 月	30 日	
4 代	直井 梅太郎	昭和 25 年	5 月	30 日	~	昭和 26 年	4 月	29 日	
5 代	松波 松太郎	昭和 26 年	5 月	28 日	~	昭和 27 年	5 月	29 日	
6 代	鈴木 諭吉	昭和 27 年	5 月	29 日	~	昭和 28 年	6 月	2 日	
7 代	三ツ木 進	昭和 28 年	6 月	2 日	~	昭和 29 年	6 月	1 日	
8 代	高村 三郎	昭和 29 年	6 月	1 日	~	昭和 30 年	4 月	30 日	
9 代	高岡 栄馬	昭和 30 年	5 月	26 日	~	昭和 31 年	5 月	24 日	
10 代	早田 判九郎	昭和 31 年	5 月	24 日	~	昭和 32 年	5 月	27 日	
11 代	小関 治	昭和 32 年	5 月	27 日	~	昭和 33 年	5 月	30 日	
12 代	渡辺 才一	昭和 33 年	5 月	30 日	~	昭和 34 年	4 月	30 日	
13 代	廣瀬 繁男	昭和 34 年	6 月	4 日	~	昭和 35 年	7 月	9 日	
14 代	三宅 穰	昭和 35 年	7 月	9 日	~	昭和 36 年	8 月	1 日	
15 代	田村 常義	昭和 36 年	8 月	1 日	~	昭和 37 年	8 月	1 日	
16 代	岡部 寛三	昭和 37 年	8 月	1 日	~	昭和 38 年	4 月	30 日	
17 代	亀石 正男	昭和 38 年	5 月	28 日	~	昭和 39 年	6 月	6 日	
18 代	島崎 初雄	昭和 39 年	6 月	6 日	~	昭和 40 年	5 月	31 日	
19 代	榎本 静雄	昭和 40 年	5 月	31 日	~	昭和 41 年	6 月	1 日	
20 代	川上 正男	昭和 41 年	6 月	1 日	~	昭和 42 年	4 月	30 日	
21 代	小菅 滋	昭和 42 年	5 月	26 日	~	昭和 43 年	6 月	11 日	
22 代	荒木 桂太郎	昭和 43 年	6 月	11 日	~	昭和 44 年	6 月	12 日	
23 代	岡部 寛三	昭和 44 年	6 月	12 日	~	昭和 45 年	6 月	12 日	
24 代	島崎 初雄	昭和 45 年	6 月	12 日	~	昭和 46 年	4 月	30 日	
25 代	小菅 滋	昭和 46 年	5 月	21 日	~	昭和 47 年	6 月	7 日	
26 代	榎本 静雄	昭和 47 年	6 月	7 日	~	昭和 48 年	6 月	11 日	
27 代	根本 常章	昭和 48 年	6 月	11 日	~	昭和 49 年	6 月	11 日	
28 代	岡部 寛三	昭和 49 年	6 月	11 日	~	昭和 50 年	4 月	30 日	
29 代	橋野 淳	昭和 50 年	5 月	30 日	~	昭和 51 年	6 月	10 日	
30 代	園部 恭平	昭和 51 年	6 月	10 日	~	昭和 52 年	6 月	10 日	
31 代	高橋 正芳	昭和 52 年	6 月	10 日	~	昭和 53 年	6 月	13 日	
32 代	大野 進見	昭和 53 年	6 月	13 日	~	昭和 54 年	4 月	30 日	
33 代	桑原 春蔵	昭和 54 年	5 月	30 日	~	昭和 55 年	6 月	13 日	
34 代	橋野 淳	昭和 55 年	6 月	13 日	~	昭和 56 年	6 月	15 日	
35 代	高橋 正芳	昭和 56 年	6 月	15 日	~	昭和 57 年	6 月	17 日	
36 代	南条 弘吉	昭和 57 年	6 月	17 日	~	昭和 58 年	4 月	30 日	
37 代	藤江 三平	昭和 58 年	5 月	30 日	~	昭和 59 年	6 月	7 日	
38 代	佐野 雅一郎	昭和 59 年	6 月	7 日	~	昭和 60 年	6 月	14 日	
39 代	斉藤 文男	昭和 60 年	6 月	14 日	~	昭和 61 年	6 月	13 日	
40 代	野沢 登	昭和 61 年	6 月	13 日	~	昭和 62 年	4 月	30 日	
41 代	高橋 正芳	昭和 62 年	5 月	29 日	~	昭和 63 年	6 月	10 日	
42 代	斉藤 文男	昭和 63 年	6 月	10 日	~	平成 2 年	6 月	15 日	
43 代	野沢 登	平成 2 年	6 月	15 日	~	平成 3 年	4 月	30 日	
44 代	五十嵐 雅夫	平成 3 年	5 月	30 日	~	平成 4 年	5 月	29 日	
45 代	溝口 誠	平成 4 年	5 月	29 日	~	平成 5 年	5 月	31 日	
46 代	有川 靖夫	平成 5 年	5 月	31 日	~	平成 6 年	5 月	31 日	
47 代	龜山 幸正	平成 6 年	5 月	31 日	~	平成 7 年	4 月	30 日	
48 代	田口 仁	平成 7 年	5 月	29 日	~	平成 8 年	5 月	29 日	
49 代	星野 仁	平成 8 年	5 月	29 日	~	平成 9 年	5 月	29 日	
50 代	飯島 修一郎	平成 9 年	5 月	29 日	~	平成 10 年	5 月	29 日	
51 代	荒川 善夫	平成 10 年	5 月	29 日	~	平成 11 年	4 月	30 日	
52 代	高橋 博	平成 11 年	5 月	17 日	~	平成 12 年	5 月	29 日	
53 代	飯田 茂	平成 12 年	5 月	29 日	~	平成 13 年	5 月	25 日	
54 代	富田 俊一	平成 13 年	5 月	25 日	~	平成 14 年	5 月	30 日	
55 代	溝口 誠	平成 14 年	5 月	30 日	~	平成 15 年	4 月	30 日	
56 代	有川 靖夫	平成 15 年	5 月	23 日	~	平成 16 年	5 月	26 日	
57 代	田口 仁	平成 16 年	5 月	26 日	~	平成 17 年	6 月	8 日	
58 代	荒川 善夫	平成 17 年	6 月	8 日	~	平成 18 年	5 月	29 日	
59 代	高橋 博	平成 18 年	5 月	29 日	~				

( 3 ) 歴代議員選出監査委員

氏 名		同意年月日		
桜井 哲郎			昭和 22 年	7 月 28 日
松原 茂一	岸田 交三		昭和 24 年	9 月 21 日
久保井 良輔	成田 勇司		昭和 26 年	5 月 30 日
門倉 傳造	廣瀬 繁		昭和 27 年	5 月 29 日
松橋 一誠			昭和 29 年	6 月 1 日
岸田 交三			昭和 30 年	5 月 28 日
吉岡 權之助			昭和 31 年	5 月 24 日
水戸 邦夫			昭和 32 年	5 月 27 日
平林 金蔵			昭和 33 年	5 月 30 日
横溝 儀市			昭和 34 年	6 月 9 日
水戸 邦夫			昭和 35 年	6 月 9 日
園部 恭平			昭和 36 年	8 月 1 日
和田 新作			昭和 37 年	8 月 1 日
三ツ谷 光勇			昭和 38 年	5 月 30 日
坂本 辰治郎	園部 恭平		昭和 39 年	6 月 6 日
直井 梅太郎	桑原 春蔵		昭和 40 年	5 月 31 日
綱嶋 源蔵	建 俊		昭和 41 年	6 月 1 日
綱嶋 金蔵	茂呂 広		昭和 42 年	5 月 27 日
野沢 賢吉	尾崎 フミ		昭和 43 年	6 月 12 日
萩原 通男	伊藤 一憲		昭和 44 年	6 月 12 日
松波 松太郎	石井 光義		昭和 45 年	6 月 12 日
橋野 淳	松原 忠雄		昭和 46 年	5 月 22 日
池山 鉄夫	大野 進見		昭和 47 年	6 月 7 日
渋谷 要	南条 弘吉		昭和 48 年	6 月 11 日
高橋 正芳	伏見 一喜		昭和 49 年	6 月 11 日
坂本 辰治郎	田村 忠男		昭和 50 年	5 月 30 日
水戸 邦夫	木部 美穂子		昭和 51 年	6 月 10 日
横溝 恒次	織田 純忠		昭和 52 年	6 月 10 日
平林 義雄	伊藤 一憲		昭和 53 年	6 月 13 日
佐藤 良平	西澤 正一		昭和 54 年	6 月 15 日
塚越 順一	松原 忠雄		昭和 55 年	6 月 13 日
小宮 岩雄	高崎 秀雄		昭和 56 年	6 月 15 日
吉田 正晴	木部 美穂子		昭和 57 年	6 月 17 日
小林 裕	渋谷 要		昭和 58 年	5 月 30 日
小菅 滋	小関 直彦		昭和 59 年	6 月 15 日
佐藤 大助	丹羽 正明		昭和 60 年	6 月 14 日
湯本 良雄	田村 忠男		昭和 61 年	6 月 13 日
野沢 登一	石井 賢二		昭和 62 年	5 月 29 日
諸星 博一	若林 克弥		昭和 63 年	6 月 10 日
竹内 重雄	金子 典子		平成 元年	6 月 15 日
龜山 幸正	間明 幸造		平成 2 年	6 月 15 日
松原 隆	斉藤 文		平成 3 年	5 月 30 日
平林 淳宏	田口 仁		平成 4 年	5 月 29 日
梅沢 喜代造	石井 賢二		平成 5 年	5 月 31 日
永井 敬臣	金子 典子		平成 6 年	5 月 31 日
張替 曝雄	五十嵐 雅夫		平成 7 年	5 月 29 日
有川 靖夫	間明 幸造		平成 8 年	5 月 29 日
神林 茂	溝口 誠		平成 9 年	5 月 29 日
藤田 静男	小林 裕		平成 10 年	5 月 29 日
松原 隆	飯島 修一		平成 11 年	5 月 17 日
荒川 善夫			平成 12 年	5 月 29 日
森 脩			平成 12 年	5 月 30 日
田中 一吉	高橋 博		平成 13 年	5 月 25 日
近藤 一忠	岡崎 幸夫		平成 14 年	5 月 30 日
永井 敬臣	飯田 茂		平成 15 年	5 月 23 日
河津 章夫	富田 俊一		平成 16 年	5 月 26 日
田中 一吉	清波 貞子		平成 17 年	5 月 27 日
小原 直美	古山 昌子		平成 18 年	5 月 29 日

## 4 予算等

### (1) 議会費(当初予算)

(単位 千円)

年度 科目	平成18年度			平成17年度		
	議会費	事務局費	計	議会費	事務局費	計
報酬	368,856	0	368,856	380,412	0	380,412
給料	0	72,511	72,511	0	73,733	73,733
職員手当等	164,790	53,227	218,017	163,068	52,916	215,984
共済費	37,498	21,395	58,893	38,279	22,982	61,261
報償費	216	0	216	317		317
旅費	45,047	1,168	46,215	42,988	1,155	44,143
交際費	5,000	0	5,000	5,000	0	5,000
食糧費	114	42	156	130	52	182
一般需用費	14,402	1,270	15,672	14,928	1,350	16,278
役務費	14,273	456	14,729	14,317	702	15,019
委託料	3,487	555	4,042	3,450	600	4,050
使用料及び賃借料	1,507	827	2,334	1,579	1,070	2,649
負担金、補助及び交付金	132,480	4,429	136,909	135,240	4,412	139,652
合計	787,670	155,880	943,550	799,708	158,972	958,680

### (2) 議員報酬(平成18年1月1日から適用)

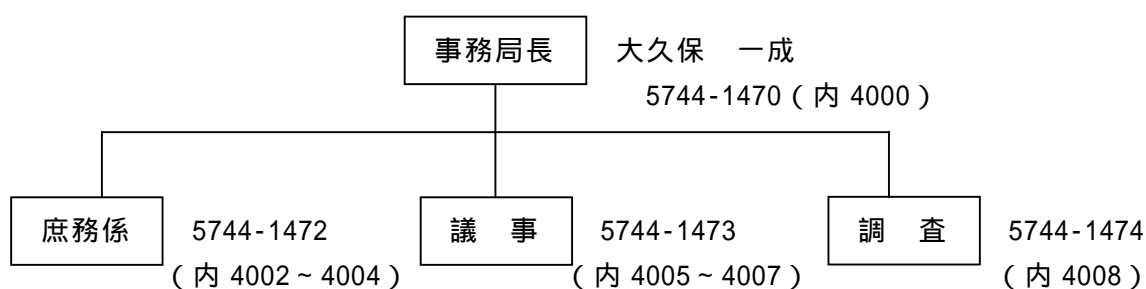
(単位 円)

区分	月額	区分	月額
議長	936,000	区長	1,168,000
副議長	788,000	助役	936,000
委員長	662,000	収入役	788,000
副委員長	635,000	教育長	788,000
議員	616,000		

( 3 ) 議会刊行物

種 類	発行回数	印刷部数	配布先
会議録	6回 (本会議開催のつど)	50部/回	議員、理事者、図書館、ブロック区議会等
区議会だより	5回 (本会議開催のつど)	245,000部/回	区内の朝日、読売、毎日、日経、産経、東京の各新聞に折り込み、特別出張所、図書館等
声の区議会だより	5回 (本会議開催のつど)	テープ100本/回	視聴覚障害者1、2級の身体障害者及びこれに準ずる方
区議会年報	1回	100部	議員、図書館等
請願・陳情文書表	6回(定例会のつど) (1、3定は2回)	240部/回	議員、理事者等
議員名簿	1回(7月)	500部	議員、理事者等

5 事務局(組織図) 平成18年12月28日現在



係 長 篠塚えみ子  
主任主事 佐川智嘉子  
主任主事 浅見 慶一  
主任主事 田中 淳子  
主任主事 岡田 佳文

議事担当係長 石山 雅弘  
主 査 大橋 暁子  
主任主事 田中 久美  
主任主事 有川 憲二  
主任主事 佐藤 信也

調査担当係長 北村 嘉常  
主 査 松川 正幸  
主任主事 金澤 欣一

議事担当係長 大谷 隆  
主 査 佐藤 保  
主任主事 政木 純也



平成 19 年 2 月発行

**平成 18 年（2006 年）版  
おおた区議会年報**

発 行 大田区議会  
編 集 大田区議会事務局  
〒144 8621 東京都大田区蒲田五丁目 13 番 14 号  
電話 (03)5744 1474